

香川県立保健医療大学

年報

2020

目 次

1. 名称・沿革等	1～2
(1) 名称	
(2) 学部・専攻科・研究科	
(3) 所在地	
(4) 沿革	
2. 組織図	3
3. 基本理念・教育目標・3つのポリシー	4～13
(1) 基本理念	
(2) 保健医療学部の教育目標	
(3) 看護学科の3つのポリシー	
(4) 臨床検査学科の3つのポリシー	
(5) 助産学専攻科の3つのポリシー	
(6) 保健医療学研究科の3つのポリシー	
4. 教育内容	14～23
(1) 保健医療学部	
① 教養教育	
② 看護学科	
③ 臨床検査学科	
(2) 助産学専攻科	
(3) 保健医療学研究科	
(4) 実習施設	
(5) 学年暦	
5. 教職員の状況	24～29
(1) 役職員	
(2) 教職員数	
(3) 教員の研究内容	
(4) 教員の研究業績	
6. 学生の状況	30～36
(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況	
(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況	
(3) 出身県別学部学生数	
(4) 令和2年3月卒業生・修了生の進路	
(5) 国家試験の合格状況	
(6) 奨学生の状況	
(7) 学生相談	
(8) 課外活動	
① サークル活動	
② ボランティア活動	
③ その他	
7. 図書館の状況	37
(1) 運営状況	
(2) 図書館資料の整備状況	
(3) 利用状況	
8. 地域との連携・広報・情報公開	38～40
(1) 地域連携推進センター事業	
(2) 公開講座	
(3) 施設開放	
(4) オープンキャンパス	
(5) 高校等への出張講座	
(6) 委員等への就任及び講師等の派遣	
(7) 情報公開	
9. 財務状況	41
(1) 令和2年度 歳入歳出予算	
(2) 外部資金の受け入れ状況	
10. 施設の状況	42～43
(1) 敷地面積	
(2) 建物	
(3) 建物配置図	

名称・沿革等

(1) 名称

香川県立保健医療大学 (平成16年4月開学)

(2) 学部・専攻科・研究科

【保健医療学部】

●看護学科

入学定員:70人

卒業後に取得できる資格:看護師国家試験受験資格
保健師国家試験受験資格(選択制)
(令和元年度以前の入学者)

●臨床検査学科

入学定員:20人

卒業後に取得できる資格:臨床検査技師国家試験受験資格
在学中に取得できる資格:健康食品管理士認定試験受験資格
(所定科目の履修者)
遺伝子分析科学認定士(初級)認定試験受験資格
食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

【助産学専攻科】

入学定員:10人

卒業後に取得できる資格:助産師国家試験受験資格
受胎調節実地指導員(看護師資格を有する者)
新生児蘇生法講習会修了認定資格(選択制)

【保健医療学研究科】

●看護学専攻(博士前期課程)

入学定員:5人

●看護学専攻(博士後期課程)

入学定員:2人

●臨床検査学専攻(博士前期課程)

入学定員:3人

●臨床検査学専攻(博士後期課程)

入学定員:2人

(3) 所在地

香川県高松市牟礼町原281番地1

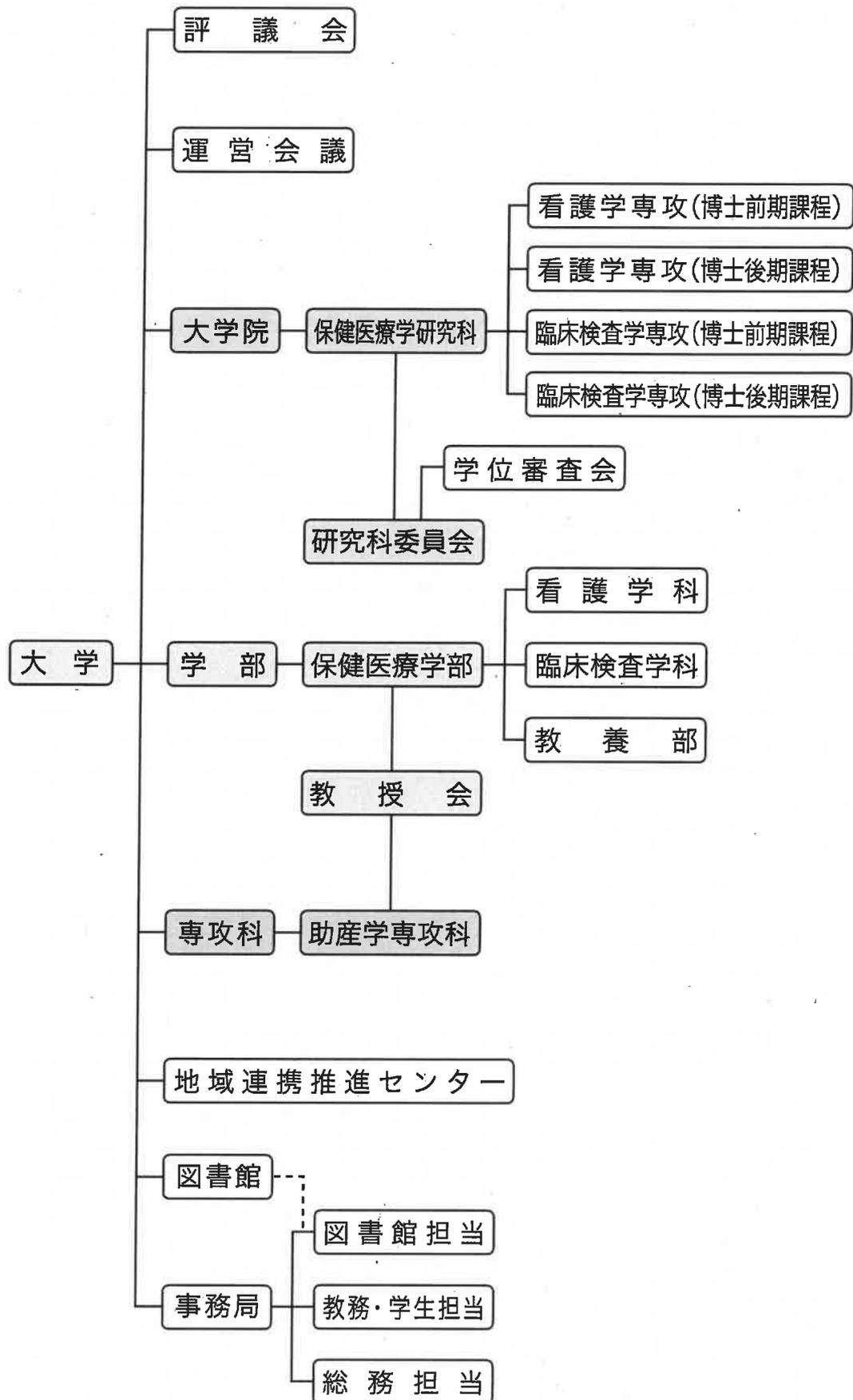
(4) 沿 革

①香川県立医療短期大学

- 平成 3年 3月 「香川県21世紀長期構想」事業計画で医療従事者の教育機関整備の検討を記述
- 平成 7年 4月 県立医療短期大学設立準備室設置
- 10月 県立医療短期大学整備基本構想策定協議会設置
- 平成 8年 2月 県立医療短期大学整備基本構想策定
- 12月 牟礼町原地区に設置決定
- 平成 9年 10月 建築工事起工式
- 12月 県立医療短期大学設置準備委員会設置
- 平成10年 4月 文部大臣へ県立医療短期大学設置認可申請
- 12月 文部大臣設置認可
- 県立医療短期大学設置条例公布
- 平成 11年 4月 県立医療短期大学開学(第1期生入学)
- 平成 14年 4月 県立医療短期大学専攻科設置
- 平成 19年 3月 県立医療短期大学閉学

②香川県立保健医療大学

- 平成 12年 6月 香川県新世紀基本構想で県立医療短期大学の4年制大学への移行について検討を記述
- 平成 13年 5月 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会設置
- 11月 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会提言
- 平成 14年 5月 大学設置基本構想策定委員会設置
- 11月 県立保健医療大学設置基本構想策定
- 県立大学設置準備委員会設置
- 平成 15年 4月 文部科学大臣に県立保健医療大学設置認可申請
- 11月 文部科学大臣設置認可
- 12月 香川県立保健医療大学設置条例公布
- 平成 16年 4月 県立保健医療大学開学(第1期生入学)
- 平成 20年 3月 県立保健医療大学第1期生卒業
- 平成 21年 4月 県立保健医療大学大学院保健医療学研究科(修士課程)設置
- 保健医療学部看護学科入学定員を50名から70名に増員
- 平成 23年 3月 大学院保健医療学研究科第1期生修了
- 4月 大学認証評価機関から「大学基準に適合している」との認定を受ける
- 地域連携推進センターを設置
- 平成 24年 4月 助産学専攻科を設置
- 看護学科学部教育に保健師選択制導入
- 看護学科3年次編入学制度の廃止
- 平成 25年 4月 大学院保健医療学研究科に専門看護師コース(精神看護)を設置
- 平成 29年 4月 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻(修士課程)の学生募集停止
- 大学院保健医療学研究科に看護学専攻(修士課程)、臨床検査学専攻(博士前期課程)及び臨床検査学専攻(博士後期課程)を設置
- 平成 31年 4月 大学院保健医療学研究科に看護学専攻(博士前期課程)及び看護学専攻(博士後期課程)を設置
- 令和 2年 4月 看護師基礎教育の4年制を開始
- 令和 4年 4月 保健師・助産師課程の大学院化(予定)



(1) 基本理念

香川県立保健医療大学は、生命の尊厳を畏敬する深い人間愛を基盤として、教育、研究、地域貢献を推進します。

生涯にわたる知の探究と自己の能力を開発していく力を有し、地域の保健医療をリードする人材を育成します。

国際的視野を有し、保健医療の発展に寄与する先駆的研究を進めます。

地域のニーズに応える保健医療に関する情報発信や教育研究拠点として活動します。

これらを通じ、「県民に一目置かれる大学」として、人々の健康で心豊かな未来を拓きます。

(2) 保健医療学部の教育目標

- 1 高い倫理観と教養を備えるとともに、深い人間愛に基づいて生命の尊厳を重んじることができ人間性豊かな人材を育成する。
- 2 看護学・臨床検査学に関する専門的知識・技術に基づいた総合的判断力を備え、実践することができる人材を育成する。
- 3 科学的思考力に基づいた豊かな創造性と探究心を持ち、生涯にわたり自らの能力の向上に努め、社会環境の変化や医療の高度化・多様化に適切に対応できる人材を育成する。
- 4 保健・医療・福祉における他の専門職と連携協働して、自らの役割と社会的使命を果たすことができる人材を育成する。
- 5 地域や国際社会の特性や問題を広い視野で理解し、多様な保健・医療・福祉の課題に適切に対応し、保健医療の向上に主体的に貢献できる人材を育成する。

(3) 看護学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー (卒業の認定に関する方針)

看護学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士(看護学)の学位を授与する。

- 1 一人ひとりの人間を総合的に理解し、互いに成長し合える関係形成ができる基礎的能力を身に付けている。
- 2 人の尊厳と権利を擁護する看護について探究し、倫理的判断に基づいて行動できる基礎的能力を身に付けている。
- 3 看護の対象と状況を的確にアセスメントし、根拠に基づく看護が実践できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 看護の実践・研究・教育の場で、将来、論理的に課題を探究し対応できる基礎的能力を身に付けている。
- 5 看護の対象を取り巻く保健・医療・福祉チーム員の役割を理解し、人々と連携協働しリーダーシップが発揮できる基礎的能力を身に付けている。
- 6 常に変化する社会に関心を寄せ、地域における看護の課題を探究し、新たな看護を創造できる基礎的能力を身に付けている。
- 7 看護を学ぶ自分と真摯に向き合い、看護専門職として誇りと責任をもって実践し成長し続ける基礎的能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

看護学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針（考え方）でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 看護学の学修が、基礎から応用および専門に向けて、段階的に積み上がるように科目編成するとともに、看護学周辺領域の学修が、看護学の学修に関連づけられるように科目を設定し配置する。

全科目は、＜基礎科目群＞と＜看護専門科目群＞に大きく区分する。

＜基礎科目群＞は、「自然」「人間」「社会」「情報」「外国語」「健康」に区分する。

＜看護専門科目群＞は、「看護学総論」「看護技術論・臨床推論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」に区分する。

- 2 看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように看護学実習を配置する。

1年次前期から「看護学導入実習」（1週間）によって看護を学ぶ動機づけを図り、2年次修了までに看護実践能力の基礎形成が確実になるように「看護技術論実習」（2週間）と「看護過程論実習」（4週間）を配置する。

3年次は、対象と場の特性に応じて展開できる看護実践能力に発展させるために「発達段階別看護論実習」（母性、小児、老年を各2週間）と、「メンタルヘルス看護論実習」（2週間）「在宅看護学実習」（2週間）を配置する。

4年次は、これまでに獲得してきた知識・技術と経験を「健康レベル別看護論実習」（3週間）と「看護学総合実習」（3週間）に統合させる。

- 3 1年次から4年次までの看護学実習前後に演習を配置し、看護師が行う「臨床推論・臨床判断」について事例を使って学修し、他の演習および実習の学びと統合させながら「根拠に基づく基礎実践能力」の獲得につなげる。演習は、学年を超えた学生同士・教員・臨床看護師の構成で行い、「連携協働する能力」「成長し続ける能力」の獲得につなげる。
- 4 地域貢献への志向性を培うために、1年次から、地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるように科目設定を行い、3年次以降に、「連携協働する能力」と「地域の看護を創造する能力」に発展させる。さらに、学生が主体的に、県内外の地域で暮らす人々に対する健康ボランティア活動を計画して実施する「地域健康サポーター実習」を2年次～4年次の自由時間内で実践する。
- 5 学生の自律性と創造性が発揮できるように、自己学修、グループ討議、発表会など多様な学修形態を採り入れるとともに、個人およびグループによる学修時間が確保できるように科目時間数設定と時間割編成を行う。

また、1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげるようにする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 2 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 3 状況判断ができ主体的に行動できる人
- 4 地域の看護実践の発展に貢献したい人

(4) 臨床検査学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー (卒業の認定に関する方針)

臨床検査学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士(臨床検査学)の学位を授与する。

- 1 豊かな人間性と高い倫理観を身に付けている。
- 2 臨床検査に必要な専門的な知識・技術と実践能力を身に付けている。
- 3 臨床検査学発展のために、自らの能力の向上に努め、データ管理能力や科学的思考力を用いて研究できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 国際感覚を備え、臨床検査を通して、地域社会に広く貢献できる能力を身に付けている。
- 5 医療・環境・食品・保健分野などで、他職種と連携しながら、幅広く活躍できる能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

臨床検査学科では、「教養教育科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の3つの柱で構成し、豊かな教養と科学的思考に基づいた知識・技術及び総合的実践能力が修得できるように科目配置する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 「教養教育科目」は、豊かな人間性と教養を培い、情報化、国際化など時代の変化に的確に対応できる能力を培う科目で構成する。

特に検査データ管理に必要な「情報科学I・II・演習」は必修とし、知識、応用、実践能力を高めるように指導し、演習課題で成果を評価する。

さらに「英語I・II」を必修とし、生命や健康に関するロールプレイやグループワークの課題から、医学英語の実用表現を学び、討議内容により評価する。

- 2 「専門基礎科目」は、健康、疾病、病態を広く理解するため、人体の構造と機能を系統的に理解し、臨床検査についての専門知識、技術、医療チームとしての役割、他職種との連携を学ぶ目的で構成する。

専門科目に繋がる基礎となる科目は、ほとんどが定期試験により評価する。

さらに、国際的視野を広げるために、「国際保健論」を設け、他職種との連携のために、「組織論」と「地域チーム医療論」を設ける。これらの科目は、グループ討議、グループワーク、課題発表により評価する。

- 3 「専門科目」は、臨床検査学主要科目の講義、学内実習を中心に、検査結果を総合的・多角的に判断分析、管理運営する基礎能力及び検査技術の修得を目的とし、グループ討議、課題学習、レポート提出及び定期試験で評価する。

さらに、臨地実習前には、実習に必要な知識、実技、接遇能力の確認、補填を行い、一定レベル以上の能力獲得評価を行う。

「臨地実習」は、臨地実習ガイドラインをもとにした実習施設とのプログラム確認により、総合的実践能力を高めるように編成する。

「臨地実習」の成果は、実習施設の教科ごとの責任者の評価と学内での最終試験により総合的に評価する。

医療の高度化や社会環境の変化に対応すべく、「検診検査学」、「救急医療概論」、「生殖補助医療技術論」、「医療経済学」、「リスクマネジメント」、「健康食品学」などの科目についても、履修可能な体制をとっている。

さらに、所定科目履修者は、在学中に、健康食品管理士、遺伝子分析科学認定士及

び食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格取得が可能となる体制をとっている。

「卒業研究」は、少人数グループ制で実施することで、科学的思考力、データ管理能力を高めるような指導を行い、抄録提出と学内発表等から評価する。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
- 2 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
- 3 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
- 4 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

(5) 助産学専攻科の教育目標

- 1 性と生殖における生活上の健康問題について、女性のライフステージ各期の健康水準を診断し支援するウィメンズヘルスケア能力を養う。
- 2 妊娠・分娩・産褥・新生時期の健康水準を診断し、マタニティサイクル各期が自然で安全に経過し、育児が健全に行えるよう支援するマタニティケア能力を養う。
- 3 変動する社会のニーズや医療の進歩に対応できる能力と科学的根拠に基づいた質の高い専門的知識・技術及び助産実践能力を養う。
- 4 母子保健医療チームの一員として他職種と協働しながら対象者と家族が生活する地域の課題に積極的に取り組み地域社会に貢献できる姿勢を養う。
- 5 助産師としてのアイデンティティを育み、生涯を通じて自己の資質の向上を図る姿勢を養う。

(6) 助産学専攻科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

助産学専攻科では、以下に示された能力を修了時まで修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認める。

- 1 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して支援するためのウィメンズヘルスケア能力を身に付けている。
- 2 妊産褥婦と新生児に対して安全・安心な助産ケアを提供でき、育児が健全に行えるよう支援するためのマタニティケア能力を身に付けている。
- 3 助産師としての役割や自身の行動に責任を果たす能力、豊かな人間性及び高い倫理観を身に付けている。
- 4 変動する社会のニーズや医療の進歩に対応できる能力、科学的根拠に基づいた知識・技術及び基礎的助産実践能力を身に付けている。
- 5 他職種と協働し、地域で生活している母子の健康に貢献できる能力を身に付けている。
- 6 生涯にわたり自己の資質の向上に努める能力と助産師としてのアイデンティティを身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

助産学専攻科では、「基礎領域」、「実践領域」、「実践関連領域」の3つの柱で構成し、助産師に必要な基本的能力（コア・コンピテンシー）を倫理的感応力、マタニティケア能力、ウィメンズケア能力、専門的自律能力と位置づけ、これらの能力が修了時に修得できるように科目配置する。

1 「基礎領域」では、助産の対象である母子及びその家族について、人間、環境、社会の側面から理解するための科目や助産学を探究する科目を配置し、学生が自主的な学習意欲に基づいて学ぶ。

学修課題への取組みと達成状況、レポート及び筆記試験によって総合的に評価する。

2 「実践領域」では、講義、学内演習、実習を通じて、妊産褥婦及び新生児とその家族を支援する助産の実践に必要な基本的な知識・技術を中心に学ぶ必修科目を配置する。

筆記試験のみでなく、演習課題への取組みと達成状況、レポート及び助産技術試験で評価する。

特に実習科目は、助産師として必要な基礎的助産実践能力を獲得するために重要な科目である。

「助産学実習Ⅰ」では、妊娠分娩産褥期及び新生児期を継続して1事例受け持つ実習とするため、入学後早期から実習を開始し、病院及び助産所において継続した助産ケアについて学ぶ。

「助産学実習Ⅱ」では、分娩介助を中心に、病院において妊産褥婦及び新生児に対する助産実践について学ぶ。規則により正常な分娩を10例介助することが修了要件となっており、実習期間内に介助できない場合は補習実習を行う。

「助産学実習Ⅲ」では、病院及び助産所の助産管理、「助産学実習Ⅳ」では、ライフサイクル全般の女性への健康支援の実際について学ぶ。

実習科目については、実習施設の実習指導者の意見も得て、評価表に基づいて総合的・客観的に基礎的助産実践能力を評価する。

さらに、継続事例への関わりを事例研究としてまとめることで科学的思考能力を養い、評価表に基づき研究能力を評価する。

3 「実践関連領域」では、卒業後に卓越した助産実践能力を獲得することを目的として選択科目を配置する。

「総合ヘルスケア論」では、経験豊かな助産師により助産技術を学ぶ。

また、「母子保健活動論Ⅱ」では、国際的な母子保健活動の実際や民間団体による母子保健活動の講義から助産師に求められている課題や他職種との連携について学ぶ。

「助産学実習Ⅴ」では、地域で生活している母子の健康支援方法について学ぶ。

さらに、「新生児蘇生法講習会（専門コース）」の修了認定資格を得ることが可能となるよう、「新生児学・乳幼児学特論Ⅱ」では、新生児救急蘇生における助産師の役割について学ぶ。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 看護学の基盤を有し、助産学を追究する姿勢をもっている人
- 2 自分の行動に責任を持ち、生命の誕生に真摯に向き合える人
- 3 助産師として、地域で生活している母子の健康に貢献することを目指す人

(7) 保健医療学研究科の基本理念・目的

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域の保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

(8) 保健医療学研究科の3つのポリシー

看護学専攻

①ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、保健医療学研究科看護学専攻が行う修士論文の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に修士（看護学）の学位を授与する。

- 1 研究課題を探求し、研究目的に応じた方法を用いて成果を生み出さす能力を有する。
- 2 看護の実践と研究において、倫理的判断と行動が遂行できる能力を有する。
- 3 専門領域の研究知見と看護実践の動向を把握し、批判的に検討し統合する能力を有する。
- 4 他者との討論を通して、自己と他者およびチームの成長につなげる能力を有する。

◆博士後期課程

看護学専攻博士後期課程に3年以上在籍し、専門共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、特別研究科目（必修）6単位の合計16単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとし、加えて、博士論文に関する副論文1編を、査読制度のある学術雑誌に単著又は共著筆頭原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表すること（印刷中の論文については、その旨を記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）とする。これらの要件を全て満たす者に博士（看護学）の学位を授与する。

単位認定および論文審査にあたっては、以下の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づいて厳格かつ適切な評価を行う。

- 1 専門領域における独創的な研究を行い、新たな看護の知を創造する能力を有する。
- 2 科学的考察や議論を深めて、新たな看護の見解を論述する能力を有する。
- 3 自らの研究について、その真価を問うために社会に発信する能力を有する。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

専門共通科目16単位以上（必修6単位、選択10単位以上）と専門領域科目4単位以上、特別研究10単位で編成する。

専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられる看護研究の基盤となる12科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英論文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を配置する。

専門領域科目は、看護実践の探求と基礎的研究能力を育成するために各専門領域において「特論」「演習」「特別研究」を配置する。

専門領域は、「基盤開発看護学領域」「地域看護学領域」「精神保健看護学領域」「療養支援看護学領域」「次世代育成看護学領域」の5領域で構成し、看護実践の質の向上と変革をめざす。

- 1 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探求する。
- 2 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考察すると共に、地域で生活する個

人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探求する。

- 3 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々が、その人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探求する。
- 4 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探求する。
- 5 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探求する。

特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学習に連動した研究を遂行し、専門性を深く探求した修士論文を完成とする。

◆博士後期課程

以下の4項目を教育方針（カリキュラムポリシー）として定め、体系的で適切な教育課程を編成する。

- 1 博士後期課程における看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。
- 2 教育課程は、研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目群で構成する。
- 3 「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置する。
- 4 授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

看護学専攻博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
- 2 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
- 3 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
- 4 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

◆博士後期課程

実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。これによって、地域の看護の質向上及び県民の健康と福祉に寄与する。

この教育目的を達成するために、以下の3項目を受け入れ方針とする。

- 1 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち、看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造性」を有している人
- 2 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人

- 3 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

臨床検査学専攻

①ディプロマ・ポリシー（終了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、本研究科が行う修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の修士学位を授与する。

- 1 国際専門誌の読解力を備え、全国学会でも研究を発表する能力があること。
- 2 研究テーマに自主性や独創性があり、研究仮説の立案から実証までのすべての過程の説明能力を有すること。

◆博士後期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で、主論文（1編）を英文で作成し、査読制度のある国際又は全国学会誌に投稿、査読を経て単著又は共著筆頭の原著として発表する（印刷中の論文については、その旨記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）。なお、主論文に関連する副論文（申請者が筆頭著者・共著者に入っている論文）の添付が望ましい。論文審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の博士学位を授与する。

- 1 臨床検査学領域における問題を発見し、解決に導く能力を有し、自ら研究仮説の立案、研究の遂行、仮説の実証ができること
- 2 自らの研究について、社会への説明能力があり、国際又は全国学会誌に研究成果を発表できること

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻は、病態機能検査学及び病因解析検査学の2領域で構成する。

専門共通科目12単位以上（先端医療学、保健医療福祉論、チーム医療特論の必修6単位、選択6単位以上）、専門領域科目8単位以上（選択した特別研究が属する領域科目から特論2単位及び演習2単位、さらに他の領域科目も含め4単位以上）、特別研究10単位の合計30単位以上を修得する。

- 1 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学について学修する。
- 2 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学について学修する。
- 3 食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や、社会医学分野における保健医療福祉に貢献できる方法について学修する。
- 4 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門における管理指導的役割について学修する。

- 5 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

◆博士後期課程

保健医療学研究科の教育研究理念、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究の深化と発展を目指し、さらにこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。「専門共通科目」、「専門科目」と「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で構成し、「専門共通科目」は、1年次の前期に、臨床検査に関する幅広い研究テーマの研究課程における研究方法論を学修する1科目（「臨床検査学研究方法論」）を必修科目として、「専門科目」は、後期に高度医療専門職に必要とされる能力の獲得を目指し研究領域の教育研究について学修する4科目（「原因因子解析検査技術論」、「病理病態検査技術論」、「神経生理機能検査技術論」、「遺伝子検査技術論」）を選択科目として、それぞれ配置する。「専門共通科目」必修2単位、「専門科目」選択2単位以上の計4単位以上の修得とする。さらに個々の研究テーマについて独創的な視点から、研究仮説及び計画の立案、実験・解析・考察、仮説の立証を通して学位論文を完成させる。「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、3科目6単位の必修科目として配置する。

- 1 「臨床検査学研究方法論」は、臨床検査に関する幅広い視野を有する教育者・研究者を育成するために、臨床検査に関する幅広い研究テーマに関する質の高い国際専門雑誌の英語論文抄読を行い、仮説の立案から仮説の科学的な検証に至るまでの研究課程における研究方法論について学修する。
- 2 「原因因子解析検査技術論」は、細菌感染症に対して抗菌薬を用いない全く新しい治療法の開発に繋げるための宿主・病原微生物相互作用研究やⅢ型分泌機構研究について学修する。
- 3 「病理病態検査技術論」は、消化器癌や乳癌等における癌の分子病理細胞診断に必要な技術と知識を深め、細胞接着因子の発現と上皮間葉転換による癌の浸潤、転移、悪性度に関する分子機構の解析について学修する。
- 4 「神経生理機能検査技術論」は、神経変性疾患における活性酸素の役割や天然化学物質の生体内情報伝達機構への影響とその作用機序について学修する。
- 5 「遺伝子検査技術論」は、遺伝子検査技術、遺伝学の基礎知識を更に深め、効率的な遺伝子検査の開発や遺伝子情報に関する情報リテラシーについて学修する。
- 6 「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、必修の3科目6単位とし、開講は通年、年、1年次はⅠ、2年次はⅡ、3年次はⅢを配置し、それぞれ研究過程並びに博士論文作成過程の進度別に明示した3段階の到達水準を達成して進む順序性を設定する。満たない場合は、学修期間は4年、5年と延長する研究指導体制とする。
- 7 専門的な研究を深化させるための「学術セミナー」を各年次に実施する。「学術セミナー」では、院生が特別研究や博士論文作成過程での課題を発表し、院生間並びに教員と院生間において相互に討論を重ね、多様な観点からの専門的な研究並びに学際的な観点からの研究の深化を図ることを目的とする。また、特色として、専門分野における豊かな学識を有する者を招聘しグローバルな視点から、教育・研究への動機づけが得られる教育研修を企画し、多様な観点から専門的な研究指導と学際的な研究指導が受けられる体制とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
- 2 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
- 3 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
- 4 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

◆博士後期課程

臨床検査学専攻博士後期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
- 2 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
- 3 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
- 4 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

(1) 保健医療学部

① 教養教育

教養教育は、専門分野の枠を超えて共通に求められる知識を得るとともに、人間としての在り方や生き方に関する高い倫理観と深い洞察力、さらには人々を取り巻く社会環境の変化に的確に対応できる能力を養うことを目的としている。

生命の尊重と豊かな人間性を養うための人文科学系科目、現代社会の諸問題や社会環境と人との関わり等を理解するための社会科学系科目、科学的思考に基づく問題解決の基礎となる自然系科目を設けている。

また、国際的視野をもって活動し、情報化社会にも対応できる人材の育成のために、外国語として英語と中国語を配置し、情報科学とコンピュータの基本操作を習得する科目を設けるほか、健康的な生活習慣に果たす運動の重要性を理解し、自らの健康管理とともに、地域の健康活動に貢献できる人材の育成を目指して健康科学科目を設けている。

総合科目としては、臨床検査学科の学生を対象に教養講座・香川を設け、香川県の魅力を紹介するとともに、さまざまな考え方を紹介し、多様な価値観があることを伝えている。さらに、学問に対する基本的な考え方や姿勢を身につけるため、自ら選んだ問題を自ら調べ、整理し、発表する能力を育成している。

これらの教養教育科目は、原則として看護学科および臨床検査学科共通とし、両学科の学生が同時に学習することによって、互いの交流と理解を深め、将来の保健医療分野での連携・協働が可能となるような教育を目指している。

授業科目

看護学科

(令和2年4月1日現在)

自 然	物理学、化学、生物学
人 間	教育学、心理学、哲学、健康科学、健康スポーツ、生命倫理、障がい論
社 会	社会学、法学、経済学、史学、文化人類学、生活環境論、社会保障論
情 報	情報リテラシー、看護情報学、保健統計
外 国 語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ

臨床検査学科

(令和2年4月1日現在)

人文科学	日本語表現法、哲学、史学、心理学、倫理学
社会科学	法学、教育学、社会学、経済学、文化人類学
自然科学	物理学、物理学実験、化学、化学実験、生物学、生物学実験
外国語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ
情報科学	情報科学Ⅰ・Ⅱ・演習
健康科学	健康科学、健康スポーツ
総合科目	教養講座・香川

②看護学科

看護学科では、人の尊厳の擁護と科学的思考力を中核とする看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する、自律性と創造性が発揮できる人材の育成を目指している。

〈基礎科目群〉は、自然・人間・社会・情報・外国語・健康に区分して学ぶ。

〈看護専門科目群〉は、「看護学総論」「看護技術論・臨床推論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」に区分する。

教育課程の編成について、「看護学実習」は、看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように配置する。特に2年次前期の実習修了までに基礎形成を目指す。看護学実習前後に演習を配置し、「臨床推論・臨床判断」の事例学習を協同（学生同士・教員・臨床看護師）で行う。1年次から地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるように地域看護学を配置、学生が主体的に取り組む「地域健康サポーター実習」を2年次以降で実施する。1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげる。

授業科目

(令和2年4月1日現在)

基礎科目群 「健康」	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、疾病と治療Ⅰ～Ⅴ、病理学概論、臨床薬理 臨床栄養、医療とME機器、臨床心理学、臨床検査ラボラトリー	
看護専門科目群	看護学総論	看護学概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護教育、看護管理
	看護技術論・臨床推論	看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、総合看護技術演習Ⅰ・Ⅱ 臨床推論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	看護過程論	看護過程論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
	健康レベル別看護論	プライマリーヘルスケア、慢性期ケア、急性期ケア リハビリテーション、看護、緩和・エンドオブライフケア、 健康レベル別看護技術演習
	発達段階別看護論	成人看護学概論、老年看護学Ⅰ・Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ
	メンタルヘルス看護論	精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ
	地域・在宅看護論	地域看護学Ⅰ・Ⅱ、離島看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、地域包括ケア論
	看護発展論	家族看護、がん看護、チーム医療、看護における代替療法、訪問看護論 看護政策論、災害看護、看護職のメンタルヘルス、地域保健論 リプロダクティブ・ヘルス、異文化看護
	看護学実習	看護学導入実習、看護技術論実習、看護過程論実習、在宅看護学実習 発達段階別看護論実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、メンタルヘルス看護論実習 健康レベル別看護論実習、看護学総合実習、地域健康サポーター実習
	看護ゼミナール・看護研究	看護研究方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護ゼミナールⅠ・Ⅱ、看護研究

令和元年度入学生：保健師教育課程選択者は、別途、公衆衛生看護論の科目群を履修する。

③臨床検査学科

臨床検査は、科学の進歩とともに大きく発展し、医療の分野で中心的な役割を果たしている。

本学では、臨床検査の総合的な実践能力を修得するため、臨床検査体験実習、基礎検査技術学演習をはじめ、多くの専門科目の実習や臨地実習を行っている。

また、医療の高度化・多様化に対応するため、先端医療技術学、臨床遺伝子検査学、生殖補助医療技術論など、幅広い高度な技術を学習するとともに、保健・医療・福祉の分野で活躍できる基礎的能力を習得するため、環境・食品検査学、健康食品学、食品衛生学、薬理学、救急医学、チーム医療論、検診検査学、リスクマネジメントなどについても受講できる体制をとっている。

さらに、科学的思考力や課題解決能力を習得する目的で、教養講座・香川、専門ゼミナール、卒業研究を通じて、少人数によるゼミ形式の教育を入学から卒業に至るまで一貫して行っている。

授業科目

(令和2年4月1日現在)

専門基礎科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、生化学Ⅰ・Ⅱ 生化学実習、生命科学概論、微生物学、病理病態学、検査機器概論、薬理学 実験動物学演習、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品衛生学、環境・食品検査学実習 社会福祉学、瀬戸内圏環境論、国際保健論、組織論、地域チーム医療論 医療統計学Ⅰ・Ⅱ、人間工学、医用電子工学、医用電子工学演習 医療情報処理学
専門科目	分析検査学 臨床化学検査学、生体試料分析検査学、病態化学分析検査学 生体試料分析検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、放射性同位元素学 分子生物学、分子生物学実習、臨床遺伝子検査学、臨床遺伝子検査学実習 生体防御検査学、高感度分析検査学、高感度分析検査学実習 輸血・移植検査学、輸血・移植検査学実習
	形態検査学 微生物検査学、細菌検査学実習、ウイルス・真菌検査学実習、医動物検査学演習 病理病態学演習、病理検査学、病理検査学実習、血液検査学Ⅰ・Ⅱ 血液検査学実習、顕微鏡技術論、写真技術論
	検査情報解析検査学 生体画像情報検査学、生体制御機能検査学、生体機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ 臨床医学Ⅰ・Ⅱ、病態生理機能検査学、病態代謝機能検査学 検査精度保証管理学、検査分析システム学、検査情報解析学 臨床検査管理運営学
	総合検査学 検査学概論、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習、専門ゼミナール 臨床検査関係法規、先端医療技術学、医療安全管理学、検診検査学 救急医学概論、生殖補助医療技術論、リスクマネジメント、遺伝子分析科学 健康食品学、健康食品学関係法規、卒業研究
	臨地実習 臨床検査総論臨床実習、病理組織細胞学臨床実習、臨床生理検査学臨床実習 臨床化学検査学臨床実習、臨床血液検査学臨床実習、 臨床微生物検査学臨床実習、臨床免疫検査学・輸血移植免疫検査学臨床実習

(2) 助産学専攻科

安全で質の高い助産ケアを提供するためには、助産師に「倫理的感応力」、「マタニティケア能力」、「ウィメンズヘルスケア能力」、「専門的自律能力」の4つの基本的能力（コア・コンピテンシー）が必要とされている。助産学専攻科では、これらの能力を修了時に獲得できるよう基礎領域、実践領域、実践関連領域の3領域の授業科目を配置している。

基礎領域では、助産の対象である母子およびその家族や地域について、人間、環境、社会の側面から理解するための科目や、助産学を探究する科目を設け、学生が自主的な学習意欲に基づいて選択履修できるようにしている。実践領域では、助産の実践に必要な基本的な知識・技術を習得するために講義、学内演習、実習を通じて学ぶ必修科目を配置している。実践関連領域では、卓越した助産技術や今日的課題を学ぶための選択科目を配置し、専門的能力の獲得を目指している。

香川県が認定した必修科目を履修することにより、助産師国家試験受験資格以外に受胎調節実地指導員の資格が得られるほか、選択する科目により新生児蘇生法講習会「専門コース」の修了認定を得ることができる。

授業科目

(令和2年4月1日現在)

基礎領域	助産学概論、性と生殖の形態と機能、新生児学・乳幼児学特論Ⅰ 母子と家族の心理、女性と社会学、生殖生命倫理
実践領域	助産診断技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・演習、母子保健活動論Ⅰ、助産管理 助産学研究、助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
実践関連領域	総合ヘルスケア論、母子保健活動論Ⅱ、新生児学・乳幼児学特論Ⅱ、助産学実習Ⅴ

(3) 保健医療学研究科

<看護学専攻博士前期課程>

看護学専攻は、基盤開発看護学、地域看護学、精神保健看護学、療養支援看護学、次世代育成看護学の5領域で構成し、実践看護の質の向上と変革をめざす。

- (1) 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探究する。
- (2) 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考察すると共に、地域で生活する個人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探究する。
- (3) 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々が、その人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探究する。
- (4) 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探究する。

求する。

- (5) 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探究する。

特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学習に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成させる。

- (6) 看護学専攻としての専門共通科目

- ① 専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられる看護研究の基盤となる12科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英論文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を置く。

授業科目 (看護学専攻 博士前期課程)

(令和2年4月1日現在)

専門共通科目	先端医学論※、チーム医療特論※、保健統計学特論 生命・医療倫理論※、英論文作成概論、看護理論 看護と哲学、質的研究方法論、量的研究方法論 地域包括ケア特論、看護政策特論、看護教育学特論
専門領域科目	
基盤開発看護学	基盤看護学特論、基盤看護学演習
健康生活支援看護学	公衆衛生看護学特論、公衆衛生看護学演習 在宅看護学特論、在宅看護学演習
精神保健看護学	精神保健看護学特論、精神保健看護学演習
療養支援看護学	臨床実践看護学特論、臨床実践看護学演習 老年看護学特論、老年看護学演習
次世代育成看護学	ウィメンズヘルス看護学特論、ウィメンズヘルス看護学演習 小児学特論、小児学演習
特別研究	看護学特別研究

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

<看護学専攻博士後期課程>

博士後期課程では、実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。

看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目で編成する。「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置した。授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

授業科目 (看護学専攻 博士後期課程)

(令和2年4月1日現在)

専攻共通科目	看護理論学、看護学発展論、看護研究方法特論
実践開発看護学領域	専門科目 基盤看護科学特論、地域在宅看護科学特論 精神保健看護科学特論、療養支援看護科学特論 次世代育成看護科学特論
	演習科目 実践開発看護学特別演習
特別研究科目	看護学特別研究

<臨床検査学専攻博士前期課程>

博士前期課程は、「病態機能検査学」と「病因解析検査学」の2領域からなり、人々の「健康と自立」の支援を基本理念とした高度専門職業人の養成を教育目標としている。

- (1) 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学について学修する。
- (2) 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学について学修する。
- (3) 食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や、社会医学分野における保健医療福祉に貢献できる方法について学修する。
- (4) 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門における管理指導的役割について学修する。
- (5) 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

授業科目 (臨床検査学専攻 博士前期課程)

(令和2年4月1日現在)

専門共通科目	先端医学論※、保健医療福祉論、チーム医療特論※ 生命・医療倫理論※、検査総合管理学、医療情報管理学 食理学、検査研究方法論
病態機能検査学 専門領域科目	生体機能検査学特論、生体機能検査学演習、病態解析検査学討論 病態解析検査学演習、病理病態検査学特論、病理病態検査学演習 血液病態検査学特論、血液病態検査学演習
病因解析検査学 専門領域科目	病原因子検査学特論、病原因子検査学演習、生体防御検査学特論 生体防御検査学演習、生体科学検査学特論、生体科学検査学演習 遺伝子検査学特論、遺伝子検査学演習
特別研究	臨床検査学特別研究

※は看護学専攻と合同授業科目

<臨床検査学専攻博士後期課程>

博士後期課程では、博士前期課程における基本理念を発展的に深化、継承し、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、科学的検証能力、更に英語で研究成果を学界や社会に発信するグローバルな能力を備えた教育者・研究者の育成を目指すために、教育研究の柱は「病態機能検査学領域」と「病因解析検査学領域」の2領域とする。

それぞれの研究領域の研究対象として、病態機能検査学領域では、①さまざまな種類のがんに関する発がんメカニズム解明と病理組織検査や細胞診検査への応用、②食習慣に着目した、食品に含まれる化学物質による神経変性疾患の予防や病態進行の抑制を目指した生化学的・生理学的研究、を含むものとし、病因解析検査学領域では、①細菌感染症の感染メカニズム解明と新たな感染防止策の考案、②様々な疾患の分子病態の解明に基づいた遺伝子関連検査法の問題点とその解決に向けた研究、を含むものとする。

授業科目 (臨床検査学専攻 博士後期課程)

(令和2年4月1日現在)

専門共通科目	臨床検査学研究方法論
病態機能検査学 専門科目	病態機能検査学技術論、神経生理機能検査学技術論
病因解析検査学 専門科目	病原因子解析検査技術論、遺伝子検査技術論
特別研究	臨床検査特別研究Ⅰ 臨床検査特別研究Ⅱ 臨床検査特別研究Ⅲ



(4) 実習施設

【保健医療学部】

①看護学科(文部科学省承認施設)

(令和2年4月1日現在)

臨地実習先	所在地	授業科目
香川県立中央病院	高松市	看護学導入・看護技術論実習 成人・母性看護学実習、総合実習
高松赤十字病院	高松市	看護学導入・看護技術論、看護過程論実習 小児・成人・母性看護学実習、総合実習
高松訪問看護ステーション	高松市	在宅看護学実習
訪問看護ステーションこくぶ	高松市	在宅看護学実習
訪問看護ステーションどんぐり	綾川町	在宅看護学実習
訪問看護ステーションかけはし	高松市	在宅看護学実習
訪問看護ステーションQちゃん	高松市	在宅・地域連携看護学実習
訪問看護ステーションたきのみや	綾川町	在宅看護学実習
ゆりかごナースセンター	高松市	在宅看護学実習
訪問看護ステーション福	高松市	在宅看護学実習
訪問看護ステーションなつめ	高松市	在宅看護学実習
まんのう町国民健康保険造田歯科診療所	まんのう町	地域連携看護学実習
在宅診療 敬二郎クリニック	高松市	地域連携看護学実習
国立療養所大島青松園	高松市	地域連携看護学実習
かがわ総合リハビリテーションセンター	高松市	小児・老年看護学実習
香川県立丸亀病院	丸亀市	精神看護学実習
福栄なごみの会	東かがわ市	精神看護学実習
高松市立保育所(牟礼、田井、はらこども園、太田、鶴尾)	高松市	小児看護学実習
光華幼稚園	高松市	小児看護学実習
ぼっこ助産院	高松市	母性看護学実習
屋島総合病院	高松市	母性看護学実習、看護過程論実習
わはは・ひろば高松	高松市	母性看護学実習
さかいで子育て支援センター まるっ子ひろば	坂出市	母性看護学実習
特定非営利活動法人 ゆうゆうクラブ	高松市	母性看護学実習
香川県立白鳥病院	東かがわ市	看護過程論実習
高松医療センター	高松市	看護過程論実習

香川県済生会病院	高松市	看護過程論実習、老年看護学実習
香川大学医学部附属病院	三木町	看護学導入・看護技術論実習 小児・成人看護学実習
香川県保健福祉事務所 (小豆、東讃、中讃、西讃) 及び 管内市町	(小豆) 小豆島町 (東讃) 東かがわ市 (中讃) 綾川町 宇多津町 多度津町 まんのう町 (西讃) 三豊市	公衆衛生看護学実習
高松市保健所、保健センター、 地域包括支援センター	高松市	公衆衛生看護学実習、総合実習
株式会社タダノ	高松市	公衆衛生看護学実習

②臨床検査学科

(令和2年4月1日現在)

臨地実習先	所在地	授業科目
香川県立中央病院	高松市	各臨床実習
高松赤十字病院	高松市	各臨地実習
キナシ大林病院	高松市	各臨地実習
香川大学医学部附属病院	三木町	各臨地実習
高松市立みんなの病院	高松市	各臨地実習
回生病院	高松市	各臨床実習

【助産学専攻科】(文部科学省承認施設)

(令和2年4月1日現在)

臨地実習先	所在地	授業科目
香川県立中央病院	高松市	助産学実習
高松赤十字病院	高松市	助産学実習
香川大学医学部附属病院	三木町	助産学実習
ぼっこ助産院	高松市	助産学実習
高松市保健センター	高松市	助産学実習

(5) 令和2年度 学部・専攻科・大学院 学年暦

前 期								後 期									
	日	月	火	水	木	金	土	行事		日	月	火	水	木	金	土	行事
4				1	2	3	4	入学式・在学生ガイダンス 4/2 新入生オリエンテーション 4/3	10					1	2	3	
	5	6	7	8	9	10	11	履修登録・教科書販売 4/6 健康診断 4/8午後		4	5	6	7	8	9	10	
	12	13	14	15	16	17	18			11	12	13	14	15	16	17	大学祭 10/17
	19	20	21	22	23	24	25			18	19	20	21	22	23	24	開学記念日 10/20 (休)
5	26	27	28	29	30	1	2	GW 5/2~5/6	11	25	26	27	28	29	30	31	
	3	4	5	6	7	8	9	内科検診(4年生・院生・専攻科生) 5/7		1	2	3	4	5	6	7	
	10	11	12	13	14	15	16	内科検診(3年生) 5/14		8	9	10	11	12	13	14	
	17	18	19	20	21	22	23	内科検診(2年生) 5/21 宿泊研修(1年生) 5/22・23		15	16	17	18	19	20	21	
	24	25	26	27	28	29	30	内科検診(1年生) 5/28		22	23	24	25	26	27	28	
6	31	1	2	3	4	5	6		12	29	30	1	2	3	4	5	
	7	8	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25	26	冬季休業 12/23~1/4
7	28	29	30	1	2	3	4		1	27	28	29	30	31	1	2	
	5	6	7	8	9	10	11	専攻科前期試験 7/6~7/14		3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16	4年後期試験 1/12~1/15
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	
8	26	27	28	29	30	31	1	臨検1年生及び両学科2~4年生 前期試験 7/31~8/13	2	24	25	26	27	28	29	30	専攻科後期試験 1/25~1/29
	2	3	4	5	6	7	8	看護1年生前期試験8/3~ 8/13		31	1	2	3	4	5	6	臨検1年生及び両学科2~3年生 後期試験 2/8~2/19
	9	10	11	12	13	14	15	夏季休業 8/14~9/30		7	8	9	10	11	12	13	看護1年生後期試験2/15~2/19 修士論文・博士論文発表会
	16	17	18	19	20	21	22			14	15	16	17	18	19	20	卒業・修了判定結果揭示 (4年生・専攻科生)
	23	24	25	26	27	28	29			21	22	23	24	25	26	27	
9	30	31	1	2	3	4	5		3	28	1	2	3	4	5	6	春季休業 3/1~3/31 修了判定結果提示 (大学院生)
	6	7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13	卒業式・修了式 3/11(案)
	13	14	15	16	17	18	19			14	15	16	17	18	19	20	進級判定結果提示 (1~3年生)
	20	21	22	23	24	25	26			21	22	23	24	25	26	27	
	27	28	29	30						28	29	30	31				

(凡例) : 土・日曜、休日 : 休業日

令和2年3月現在のものであり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事の中止、変更がある。

教職員の状況

(1) 役職員

(令和2年5月1日現在)

学 長	井伊 久美子
副 学 長	國方 弘子
研 究 科 長	
学 生 部 長	平木 民子
図 書 館 長	平川 栄一郎
看 護 学 科 長	片山 陽子
臨床検査学科長	奥田 潤
教 養 部 長	加太 英明
専 攻 科 長	野口 純子
看護学専攻長	高嶋 伸子
臨床検査学専攻長	中村 丈洋
事 務 局 長	豊島 貴子
事務局次長	西村 浩



(速水史朗「人」1999年)

(2) 教職員数

(令和2年5月1日現在、単位：人)

区 分	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教		計
学 長	1						1
副 学 長	1						1
保健医療学部	看護学科	10	7	4	7		28
	臨床検査学科	6	2	3	4		15
	教 養 部	3			1		4
助産学専攻科		1	1	1			3
計(教員)	2	20	10	8	12		52

区 分	教授	特任教授	准教授	講師		計
保健医療学研究科	[21]	1	[6]	[1]		1 [28]

区 分	事務局長	事務局次長	副主幹	主任	主任主事 主 事	会計年度 任用職員	計
事 務 局	1	1	3	5	2	(5)	12 (5)

合 計							65 (5)
-----	--	--	--	--	--	--	--------

※保健医療学研究科の〔 〕内の人数は学部との兼務者であり、教授には学長及び副学長を含む。
事務局の()内の人数は定数外職員。

(3) 教員の研究内容

【学長・副学長】

領域	教員	研究内容
地域看護学	井伊久美子	1. 地域包括ケア推進のための看護提供体制に関する研究 2. 公衆衛生看護活動方法論の構築に関する研究
精神看護学	國方 弘子	1. 認知行動療法を用いた看護介入に関する研究 2. メンタルヘルスに健康問題をもつ人のリハビリテーションに関する研究 3. さまざまな精神疾患患者またはその近親者や保健医療福祉サービスで働くスタッフの Quality of life に関する研究

【保健医療学部】

①看護学科

領域	教員	研究内容
基礎看護学	平木 民子	1. 看護職者の能力開発に関する研究 2. 反省的看護実践に関する研究
	松村 千鶴	1. 看護技術が生体に及ぼす影響に関する研究 2. 簡便で効果的な清潔ケア技術の開発に関する研究
	堀 美紀子	1. 看護師の倫理的行動に関する研究 2. 基礎看護技術における教育方法と効果に関する研究
	小林 秋恵	1. 包括的脳卒中予防の看護実践に関する研究 2. 看護職者の多職種連携協働能力に関する研究
成人看護学	近藤真紀子	1. 病いと共に生きる患者とその家族への支援に関する研究 2. ハンセン病と医療倫理に関する研究 3. 幼い子供をもつがん患者とその家族への支援に関する研究 4. 看護師のグリーフケアに関する研究 5. 看護実践の理論化・概念化に関する研究
	細原 正子	1. がん患者・家族への心理的支援に関する研究 2. 成人看護学教育に関する研究
	岩本 真紀	1. がんサバイバーのストレスに関する研究 2. がんサバイバーへの意思決定支援に関する研究
	森田公美子	1. がんとともに生きる人の QOL を維持する看護支援に関する研究 2. 乳がん体験者と家族への看護支援に関する研究 3. がん看護に携わる看護師の看護実践能力の可視化に関する研究
	岡西 幸恵	1. がんサバイバーへの看護支援に関する研究 2. 頭頸部がん患者の看護支援に関する研究
	新井恵津子	1. リンパ浮腫患者の看護支援に関する研究 2. 糖尿病患者の周手術期看護支援に関する研究 3. 術後がん患者間の相互作用に関する研究
	母性看護学	松村 恵子
塩田 敦子		1. 漢方療法の慢性疼痛、冷えに対する効果とエビデンスの検証 2. 看護基礎教育における漢方教育のありかた 3. 産後うつ、PMS の客観的マーカーの探索 4. 月経困難症、月経量への個別ケアの研究

領域	教員	研究内容
母性看護学	木戸久美子	1. 障がいのある女性の周産期の援助に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 父親の産後うつに関する研究 4. 母性看護学および助産学分野における技術教育に関する研究
	植村 裕子	1. 女性の健康支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 母性看護学教育に関する研究
小児看護学	舟越 和代	1. 障がい児とその家族の看護に関する研究 2. 小児看護学教育に関する研究 3. 子どもの健康行動と認識に関する研究
	三浦 浩美	1. 子どもの健康行動と病気の認識についての研究 2. 小児看護学教育に関する研究 3. 子育て支援についての研究 4. 子どもの感情表出と健康に関する研究
	松本 裕子	1. 先天代謝異常症の子どもとその家族に関する研究 2. 新生児マススクリーニングに関する研究 3. 小児看護学教育に関する研究 4. 子育て支援についての研究
老年・在宅看護学	吉本 知恵	1. 高齢者の病院からの移行を支援する看護に関する研究 2. 認知症高齢者の支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究
	片山 陽子	1. エンド・オブ・ライフにおける Advance Care Planning に関する研究 2. 意思決定支援と合意形成に関する研究 3. 訪問看護の可視化に関する研究 4. 在宅ケアを実践する人材育成に関する研究
	岡田 麻里	1. 訪問看護師の地域看取りケアの振り返りに関する研究 2. 頸髄損傷者のセルフマネジメントに関する研究 3. 一人暮らし高齢者の居場所づくりに関する研究 4. 多職種連携のための継続看護マネジメントに関する研究
	竹内 千夏	1. 脳卒中後遺症をもつ在宅療養高齢者の自尊感情に関する研究 2. 在宅移行期の看護支援に関する研究
	平井智重子	1. 高齢者の健康支援に関する研究 2. 老年看護学教育に関する研究
	諏訪亜季子	1. 重症児(者)と高齢者家族等の多重介護支援に関する研究 2. 難病や障害をもつ児とその家族への子育て支援に関する研究
精神看護学	土岐 弘美	1. 認知症を抱える人や家族の支援に関する研究 2. 精神の病を抱える人や家族の支援に関する研究 3. 看護職者のメンタルヘルスの支援に関する研究
	多田羅光美	1. 精神障がい者の支援に関する研究 2. 精神科看護師の職務満足に関する研究 3. 精神科看護師の Quality of life に関する研究
地域看護学	高嶋 伸子	1. 保健師機能に関する研究 2. 健康増進計画策定・推進に関する研究
	辻 よしみ	1. 保健医療サービスに関する研究 2. 保健師教育に関する研究 3. 地域診断における疫学活用に関する研究
	植原 千明	1. 保健師の地区活動に関する研究 2. 住民の自主グループ化支援に関する研究

②臨床検査学科

領域	教員	研究内容
情報解析検査学	樋本 尚志	1. 肝疾患における自己抗体の臨床的意義 2. 肝疾患における糖・脂質代謝異常と微量元素との関連
	立石 謹也	1. 抗酸化物質に関する研究 2. 末期腎臓病および糖尿病における酸化ストレス評価法に関する研究
	大栗 聖由	1. 脳波解析を用いた新たなバイオマーカーの開発 2. 横隔膜超音波検査を用いた呼吸筋に関する研究
	小河 佳織	1. 肩こりにおける新しい生体情報解析法の開発 2. 3D 超音波を用いた胎児の機能に関する研究
形態検査学	平川栄一郎	1. 癌の分子病理診断 2. 癌の浸潤と転移に関する分子機構の解析
	奥田 潤	1. 緑膿菌の内因性血液感染メカニズムの解析 2. タイプIII分泌機構に着目した <i>Edwardsiella tarda</i> の病原機構の解明 3. 感染症検査キットの性能評価に関する研究
	池亀 彰茂	1. 造血器腫瘍に対する新規抗体薬の効果解析 2. 敗血症における単球の機能に関する研究 3. 髄液中白血球に対する簡易検査法の開発
	末澤 千草	1. <i>Edwardsiella tarda</i> の病原性に関する研究 2. 緑膿菌の病原性に関する研究 3. インフルエンザウイルスの迅速検出に関する研究
	山口 航	1. 血液細胞の活性、機能、および検査法に関する研究 2. 発達期における髄鞘形成 3. 検査血液学の効果的教育法の確立
	森西 起也	1. 癌の分子病理診断 2. 大腸癌における核内受容体を対象とした研究
分析検査学	中村 丈洋	1. 災害現場でも実施可能な簡易検査としての新しいバイオマーカーの開発 2. 新たなバイオマーカーとしてのマイクロ RNA の検索 3. 地域連携のための多職種を対象とした研修および教材の開発
	行正 信康	1. 抗原特異的免疫応答の差異に関する研究 2. 単球・マクロファージにおける免疫機能の多様性に関する研究 3. 新規 B 型肝炎ウイルス感染症関連検査の考案
	多田 達史	1. 糖尿病と動脈硬化に関する臨床的研究 2. 自動分析装置の臨床に関する研究
	太田 安彦	1. 好中球活性化機構の解明・病態との関連性、抗酸化物質の作用 2. 糖尿病患者における DPPIV 阻害剤の影響
	山崎 未来	1. エピゲノム情報に基づく新たなバイオマーカー開発 2. 母体のフルクトース摂取が次世代に及ぼす影響

③教養部

領域	教員	研究内容
生命科学	加太 英明	1. 神経変性疾患における活性酸素の役割 2. 天然化学物質の生理活性 3. 環境化学物質の生体への影響
医学英語・ 応用社会科学	南 貴子	1. 海外における生殖補助医療を巡る法制度と家族についての研究 2. 安楽死を巡る法制度についての研究 3. 英語教育
解剖生理学	古山 達雄	1. 脈管形成における寿命関連遺伝子の関与 2. 神経新生における寿命関連遺伝子の関与
	新美 健太	1. 脈管系の発達過程に関する形態的研究 2. 内皮細胞におけるフォークヘッド転写因子の生理学的機能の検討 3. 中枢神経系の発達過程に関する形態的研究

【助産学専攻科】

領域	教員	研究内容
助産学	野口 純子	1. 超音波検査と妊婦の健康生活支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 助産ケアの効果に関する研究 4. 助産学教育に関する研究
	竹内美由紀	1. 助産師のキャリア発達支援に関する研究 2. 思春期に対する育児体験の有効性に関する研究 3. 助産ケアの効果に関する研究 4. 助産学教育に関する研究
	石原 留美	1. 褥婦の健康支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 性アイデンティティの生涯発達に関する研究 4. 助産学教育に関する研究

【大学院特任】

領域	教員	研究内容
療養支援看護学	古川 文子	1. 循環器系疾患に対する予防・療養支援に関する研究 2. 成人・高齢療養者の睡眠中における「寝返り」に関する研究 3. オレムのセルフケア不足看護理論に基づく「モノ」の開発と評価に関する研究

(4) 教員の研究業績

(期間:平成31年4月～令和2年3月、単位:件)

区分	学術論文等										学会発表					主催学会等	講演等	
	著書 〔欧文〕	著書 〔和文〕	原著 〔欧文〕	原著 〔和文〕	総説 〔欧文〕	総説 〔和文〕	研究報告 〔欧文〕	研究報告 〔和文〕	その他 〔欧文〕	その他 〔和文〕	国際学会			国内学会				
											特別講演等	シンポジウム等	一般演題	特別講演等	シンポジウム等			一般演題
看護学科		7	2	7		3		2	1	7			10		11	37	15	65
臨床検査学科			18	1									4			29		13
教養部			4													3		
助産学専攻科			1	1											2	2		20
合計		7	25	9		3		2	1	7			14		13	71	15	98

6

学生 の 状 況

(1) 入 学 者 選 抜 試 験 及 び 入 学 者 の 状 況

年度	学科・研究科	試験区分	募集人員 (人以内)	出願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	倍率	入学者数(人)		
								県内	県外	計
令和元年度	保健医療学部 看護学科	推 薦	35	46 (4)	46 (4)	35 (1)	1.3	35 (1)	0 (0)	35 (1)
		一 般 (前)	28	43 (6)	41 (5)	30 (3)	1.4	15 (3)	9 (0)	24 (3)
		一 般 (後)	7	108 (12)	27 (4)	14 (2)	1.9	6 (0)	7 (2)	13 (2)
		計	70	197 (22)	114 (13)	79 (6)	1.4	56 (4)	16 (2)	72 (6)
	臨床検査学 学 科	推 薦	10	24 (4)	24 (4)	10 (1)	2.4	10 (1)	0 (0)	10 (1)
		一 般	10	32 (7)	30 (7)	11 (2)	2.7	2 (1)	8 (1)	10 (2)
		計	20	56 (11)	54 (11)	21 (3)	2.6	12 (2)	8 (1)	20 (3)
	合 計	推 薦	45	70 (8)	70 (8)	45 (2)	1.6	45 (2)	0 (0)	45 (2)
		一 般	45	183 (25)	98 (16)	55 (7)	1.8	23 (4)	24 (3)	47 (7)
		計	90	253 (33)	168 (24)	100 (9)	1.7	68 (6)	24 (3)	92 (9)
	助産学専攻科		10	13 (0)	13 (0)	10 (0)	1.3	8 (0)	1 (0)	9 (0)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人特別選抜	5	5 (1)	5 (1)	5 (1)	1.0	4 (0)	1 (1)
看護学専攻 (博士後期課程)		一般選抜 社会人特別選抜	2	5 (1)	5 (1)	2 (1)	2.5	0 (0)	2 (1)	2 (1)
臨床検査学専攻 (博士前期課程)		一般選抜 社会人選抜	3	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0.3	1 (0)	0 (0)	1 (1)
臨床検査学専攻 (博士後期課程)		一般選抜 社会人選抜	2	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0.5	0 (0)	1 (1)	1 (1)
令和2年度	保健医療学部 看護学科	推 薦	35	59 (5)	59 (5)	35 (1)	1.7	35 (1)	0 (0)	35 (1)
		一 般 (前)	28	76 (4)	72 (4)	30 (0)	2.4	15 (0)	13 (0)	28 (0)
		一 般 (後)	7	173 (8)	49 (3)	8 (1)	6.1	2 (0)	5 (1)	7 (1)
		計	70	308 (17)	180 (12)	73 (2)	2.5	52 (1)	18 (1)	70 (2)
	臨床検査学 学 科	推 薦	10	19 (0)	19 (0)	10 (0)	1.9	10 (0)	0 (0)	10 (0)
		一 般	10	24 (7)	23 (7)	11 (2)	2.1	1 (0)	9 (2)	10 (2)
		計	20	43 (7)	42 (7)	21 (2)	2.0	11 (0)	9 (2)	20 (2)
	合 計	推 薦	45	78 (5)	78 (5)	45 (1)	1.7	45 (1)	0 (0)	45 (1)
		一 般	45	273 (19)	144 (14)	49 (3)	2.9	18 (0)	27 (3)	45 (3)
		計	90	351 (24)	222 (19)	94 (4)	2.4	63 (1)	27 (3)	90 (4)
	助産学専攻科		10	18 (0)	18 (0)	11 (0)	1.6	7 (0)	2 (0)	9 (0)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	5	7 (0)	7 (0)	7 (0)	1.0	7 (0)	0 (0)
看護学専攻 (博士後期課程)		一般選抜 社会人選抜	2	6 (0)	6 (0)	4 (0)	1.2	2 (0)	2 (0)	4 (0)
臨床検査学専攻 (博士前期課程)		一般選抜 社会人選抜	3	4 (1)	4 (1)	4 (1)	1.0	4 (1)	0 (0)	4 (1)
臨床検査学専攻 (博士後期課程)		一般選抜 社会人選抜	2	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0	0 (0)	2 (1)	2 (1)

※ () 内は男子学生(内数)。合格者数には追加合格者数を含む。

(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況

① 学生定員及び在学生数

(令和2年5月1日現在)

区 分	修業 年限	入学定員	収容定員	学 生 数						
				区分	1年	2年	3年	4年	計	
保健 医療 学部	看護学科	4年	70人	280人	計	72人	70人	69人	71人	282人
					男	3人	5人	7人	5人	20人
					女	69人	65人	62人	66人	262人
	臨床検査学科	4年	20人	80人	計	20人	22人	16人	20人	78人
					男	2人	3人	5人	6人	16人
					女	18人	19人	11人	14人	62人
合 計	/	90人	360人	計	92人	92人	85人	91人	360人	
				男	5人	8人	12人	11人	36人	
				女	87人	84人	73人	80人	324人	
助産学専攻科	1年	10人	10人	計	9人	/	/	/	9人	
				女	9人	/	/	/	9人	
保健 医療 学 研究 科	保健医療学専攻 (修士課程)	2年	8人	16人	計	/	1人	/	/	1人
					男	/	0人	/	/	0人
					女	/	1人	/	/	1人
	看護学専攻 (博士前期課程)	2年	5人	10人	計	7人	5人	/	/	12人
					男	0人	1人	/	/	1人
					女	7人	4人	/	/	11人
	看護学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	4人	2人	0人	/	6人
					男	0人	1人	0人	/	1人
					女	4人	1人	0人	/	5人
	臨床検査学専攻 (博士前期課程)	2年	3人	6人	計	4人	1人	/	/	5人
男					1人	1人	/	/	2人	
女					3人	0人	/	/	3人	
臨床検査学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	2人	1人	2人	/	5人	
				男	1人	1人	0人	/	2人	
				女	1人	0人	2人	/	3人	
合 計	/	20人	44人	計	17人	10人	2人	/	29人	
				男	2人	4人	0人	/	6人	
				女	15人	6人	2人	/	23人	

※保健医療学専攻(修士課程)は、平成29年度から学生募集停止。

② 退学者の状況

学 科	平成30年度					令和元年度					
	1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
学 部	看護学科	2人	0人	0人	0人	2人	3人	0人	1人	0人	4人
	臨床検査学科	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	2人
	助産学専攻科	0人	/	/	/	0人	0人	/	/	/	0人
	保健医療学研究科	2人	0人	/	/	2人	0人	1人	0人	/	1人
	計	5人	0人	0人	0人	5人	3人	2人	1人	1人	7人

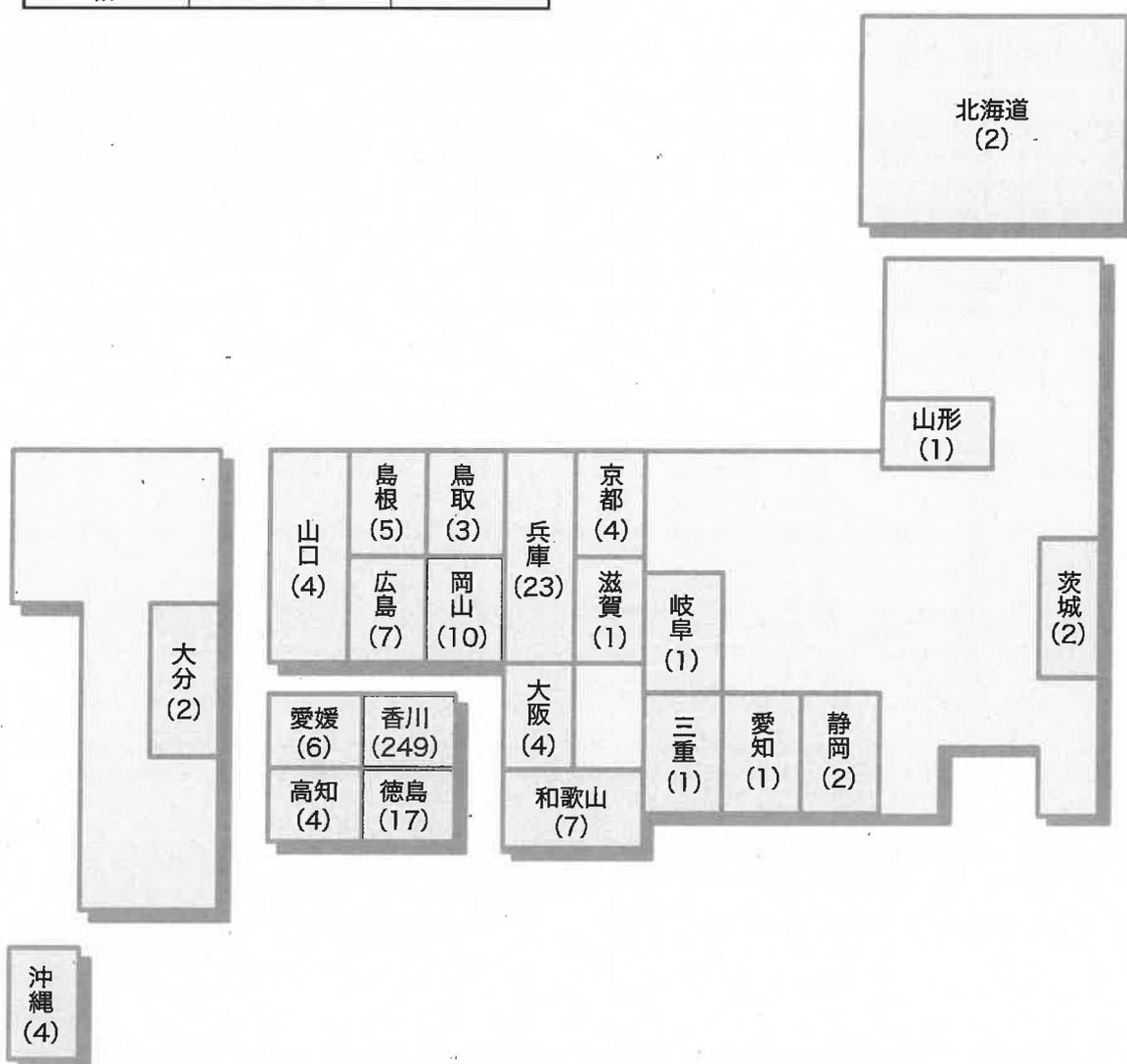
③休学者の状況

学 科		平成30年度					令和元年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学 部	看護学科	3人	2人	2人	0人	7人	2人	0人	1人	0人	3人
	臨床検査学科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	2人
助産学専攻科		0人	/	/	/	0人	0人	/	/	/	0人
保健医療学研究科		1人	1人	/	/	2人	0人	1人	/	/	1人
計		4人	3人	2人	0人	9人	2人	3人	1人	0人	6人

(3) 出身県別学部学生数 (令和2年5月1日現在)

(単位:人)

区分	学部生人数	構成比 (%)
県内	249	69.2
県外	111	30.8
計	360	100.0



(4) 令和2年3月卒業生・修了生の進路

学 科 等		看 護 学 科			臨床検査学科	助産学専攻科	保健医療学 研究科	合計	
		看護師	保健師	その他	臨床検査技師	助産師			
職 種		看護師	保健師	その他	臨床検査技師	助産師	保健医療学 研究科	合計	
就 職	県 内	香川県、香川県立病院	9人			2人	2人	1人	14人
		市町、市町立病院	2人	4人		2人	2人		10人
		国、独立行政法人							
		大学附属病院	2人				2人		4人
		高松赤十字病院	7人			1人	1人		9人
		その他の病院、施設	5人			4人			9人
		小 計	25人	4人		9人	7人	1人	46人
	県 外	都道府県、都道府県立病院 地方独立行政法人	2人	1人					3人
		市町村、市町村立病院 地方独立行政法人	5人	2人					7人
		国、独立行政法人	1人						1人
		大学附属病院	9人			1人	1人	1人	12人
		日本赤十字社関連施設	2人						2人
		その他の病院、施設等	4人			5人	1人		10人
		小 計	23人	3人		6人	2人	1人	35人
計	48人	7人		15人	9人	2人	81人		
現 職 継 続							6人	6人	
進 学				9人	4人		2人	15人	
そ の 他					1人			1人	
合 計				64人	20人	9人	10人	103人	

(5) 国家試験の合格状況

区 分	平成30年度			令和元年度		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
看 護 師	65人	63人	96.9%	64人	64人	100.0%
保 健 師	18人	16人	88.9%	18人	18人	100.0%
助 産 師	10人	10人	100.0%	9人	9人	100.0%
臨 床 検 査 技 師	20人	19人	95.0%	20人	19人	95.0%

(6) 奨学生の状況

日本学生支援機構奨学生状況

		平成30年度					令和元年度				
		1種	2種	併用	貸与計	給付	1種	2種	併用	貸与計	給付
看護学科	1年	16人	7人	6人	29人	4人	18人	6人	0人	24人	5人
	2年	18人	12人	1人	31人	0人	17人	6人	6人	29人	4人
	3年	13人	8人	1人	22人	0人	18人	10人	1人	29人	0人
	4年	13人	13人	4人	30人	0人	13人	7人	1人	21人	0人
臨床検査学科	1年	4人	4人	0人	8人	0人	2人	4人	1人	7人	1人
	2年	2人	2人	1人	5人	0人	5人	2人	0人	7人	0人
	3年	3人	1人	1人	5人	0人	2人	2人	1人	5人	0人
	4年	5人	2人	2人	9人	0人	3人	1人	1人	5人	0人
助産学専攻科		1人	1人	1人	3人	0人	2人	0人	0人	2人	0人
保健医療学研究科	1年	2人	0人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	1人	0人
	2年	2人	1人	0人	3人	0人	1人	0人	0人	1人	0人
	3年	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計		79人	51人	17人	147人	4人	81人	39人	11人	131人	10人

(7) 学生相談

学生相談室利用状況

施設の名称：学生相談室

開室時間：予約制

スタッフ：臨床心理士 1名（非常勤）

年間相談延件数：平成30年度 19件

令和元年度 17件



(8) 課外活動

① サークル活動

(令和2年3月現在)

学生団体名	バレーボールサークル	バスケットボールサークル
	バドミントンサークル	ヨガサークル
	茶道部	アウトドアサークル
	軽音楽サークル	EIES (English and international Exchange Society)
	手話サークル	The ☆ダンスサークル
	フットサルサークル	マンガ研究会
	吹奏楽サークル	テニスサークル
	軟式野球サークル	卓球サークル
	香川県青年赤十字奉仕団サークル	写真部
	図書サークル(ピブリア)	セカンド・ハンド・ユース
	災害医療サークル	香川文化サークル
	ボルダリングサークル	ハンドメイドサークル
	箏サークル	
計	25 団体	
サークル登録延人数	358 人	
後援会補助金額(予定)	1,200,000 円	



② ボランティア活動 (令和元年度)

- ・いいお産の日「沐浴体験」
- ・香川県立高松商業高等学校文化祭「育児体験」
- ・さらスポーツクラブ「未来ある子どもたちにゆめと希望の贈り物」「ふうせんバレー」
- ・小学生のための夏のサイエンスキャンプ
- ・はらこども園子育て支援センター「お母さんの健康を測定しよう!」
- ・はらこども園子育て支援センター「ベビーマッサージ&ハンドマッサージ」
- ・防災フェスin丸亀
- ・みのり保育園地域子育て支援センター「ベビーマッサージ&ハンドマッサージ」
- ・牟礼地区小学校 (牟礼小・牟礼南小・牟礼北小) ふるさとまつり「健康度測定・健康相談」
(以上「五十音順」)

③ その他

◆大学祭

平成30年度

- ・日 時 平成30年10月20日(土) 10:00~17:00
- ・会 場 本学中庭及び学舎
- ・テ - マ 繋(つながり)
- ・実行委員長 宮崎 朋子
- ・前夜祭 平成30年10月19日(金)

令和元年度

- ・日 時 令和元年10月19日(土) 10:00~17:00
- ・会 場 本学中庭及び学舎
- ・テ - マ 和(わ)
- ・実行委員長 上田 勢那
- ・前夜祭 令和元年10月18日(金)

◆新入生宿泊研修

平成30年度

- ・日 時 平成30年5月11日(金)~12日(土)
- ・場 所 琴平グランドホテル 紅梅亭

令和元年度

- ・日 時 令和元年5月10日(金)~11日(土)
- ・場 所 琴平グランドホテル 紅梅亭

図書館の状況

(1) 運営状況

- 開館時間：通常……9時～21時30分
土曜日……9時15分～13時
長期休業期間中など……9時～17時
- 休館日：日曜、長期休業期間中の土曜日、祝日、資料整理日、開学記念日（10月20日）、年末年始
- 閲覧室の面積：475㎡
- 座席数：閲覧席84席、視聴覚ブース6席
- 収納可能冊数：開架 4万冊
書庫 6万冊

(2) 図書館資料の整備状況

（令和元年度末現在）

区分	図書(冊)				雑誌(種)			視聴覚資料 (点)
	和書	洋書	小計	蔵書 合計	購入 和雑誌	購入 洋雑誌	オンライン ジャーナル	
受入数	2,075	11	2,086	77,788	105	1	4	1,750

(3) 利用状況（令和元年度）

開館日数：263日

貸出冊数				貸出人数			
学生	教職員	学外者	合計	学生	教職員	学外者	合計
8,462冊	1,839冊	1,151冊	11,452冊	4,176人	853人	670人	5,699人

相互利用		参考調査
依頼	受付	
412件	54件	719件

(1) 地域連携推進センター事業

【地域住民交流事業】

①健康サポーター養成講座

- 日時 令和元年8月～11月
- 場所 保健医療大学、香川県内全域
- 内容 講義「ボランティア活動とは何か、ボランティア活動のための基本姿勢」ほか健康課題をテーマにした企画・ポスター作成、発表健康測定等フィールド活動

②いきいき健康広場

- 日時 令和元年8月27日(火)、11月28日(木)
- 場所 保健医療大学
- 内容 健康測定、健康相談

③ふるさとまつり

- 日時 令和元年11月17日(日)
- 場所 牟礼地区小学校(3校)
- 内容 健康測定、健康相談、ふるさと学習

④小学生のための夏のライフサイエンス教室

- 日時 令和元年7月28日(日)
- 場所 保健医療大学
- 内容 体験学習
第1回 Aコース「楽しく解き明かしてみよう"自然な動きと姿勢"」
Bコース「ひかりと色と化学の不思議な関係」
Cコース「君はカメラをだませるか?テクノロジーを操れるか?」

⑤すこやかコミュニティ

- 日時 令和2年2月28日(金)
- 場所 保健医療大学
- 内容 調査報告会、講演会
テーマ「地域における防災を一緒に考えましょう」

⑥大島青松園ハンセン病回復者と本学学生の交流事業

- 日時 令和2年2月28日(金)
- 場所 大島青松園
- 内容 交流会、ドッグセラピー

【専門職支援事業】

①かがわメンタルヘルス研究会

- 日時 令和元年5月15日(水)、7月24日(水)、9月25日(水)、11月16日(土)、12月11日(水)
- 場所 保健医療大学、かがわ総合リハビリテーションセンター
- 内容 研修会、講演会
テーマ「シミュレーション教育」
「地域包括ケアにおける多職種の連携」

②地域子育て支援研究会

- 日時 令和元年5月9日(木)、6月14日(金)、7月12日(金)、9月13日(金)、
12月13日(金)、令和2年1月10日(金)、2月6日(木)
- 場所 高松市はらこども園子育て支援センター「にこにこキッズセンター」
- 内容 ミニ講座、子育て健康相談

③かがわ訪問看護学びあい塾

- 日時 令和元年5月24日(金)、7月12日(金)、8月30日(金)、9月20日(金)、10月25日(金)、12月12日(木)、令和2年1月17日(金)、2月14日(金)
- 場所 保健医療大学
- 内容 講演会
テーマ「在宅緩和ケア：臨床推論と薬物療法」ほか

④地域の魅力づくりのための医療・福祉スタッフへの支援事業

- 日時 令和元年10月11日(金)
- 場所 サンポートホール高松
- 内容 セミナー
テーマ「新生児マススクリーニングをもっと身近に考えよう！」

(2) 公開講座 ～ テーマ『健やかに生きよう』～

【第1回】 令和元年8月27日(火)

本学大講義室

講座内容	講師	参加者数
育児不安と産後うつを考える	教授 木戸久美子	35人
糖尿病についての知識を身につけよう	講師 太田 安彦	

【第2回】 令和元年11月11日(月)

香川県社会福祉総合センター

講座内容	講師	参加者数
健康寿命を伸ばしましょう	教授 近藤真紀子	34人
食中毒を防ぐために	講師 末澤 千草	

(3) 施設開放

①見学受け入れ

	小学校	中学校	高等学校	計
平成30年度	0件	0件	4件	4件
令和元年度	0件	0件	4件	4件

②施設貸出

	テニスコート	グラウンド	大講義室	一般講義室	体育館
平成30年度	0件	83件	2件	5件	3件
令和元年度	0件	66件	3件	6件	30件

③図書館学外者利用

	入館者数	貸出者数	貸出冊数
平成30年度	1,124人	763人	1,325冊
令和元年度	949人	670人	1,151冊

(4) オープンキャンパス

- 日時 令和元年7月20日(土) 12:30～16:30
- 場所 大講義室、各実習室ほか
- 参加人員 316人(県内250人、県外66人)

《ミニオープンキャンパス》※大学祭併催

- 日時 令和元年10月19日(土) 10:00～12:00
- 場所 中庭ほか
- 参加人員 28人(県内24人、県外4人)

(5) 高校等への出張講座 (令和元年度) (延べ人数)

高校等へ出向いた本学教員数 看護学科30人、臨床検査学科10人

(6) 委員等への就任及び講師等の派遣 (令和元年度)

(延べ回数)

	看護学科	臨床検査 学科	教養部	助産学 専攻科	学長・ 副学長	計
国・県・市町の審議会及び関係 諸団体の委員・役員等への就任	41	7	0	7	6	61
講演・研修の講師等 (非常勤 講師は除く。)	81	8	0	17	10	116

(7) 情報公開

①情報公開条例に基づく情報公開請求

平成30年度請求 0件

令和元年度請求 0件

②個人情報保護条例に基づく入学試験の口頭による開示請求

令和元年度入学試験 73件

令和2年度入学試験 75件

財務状況

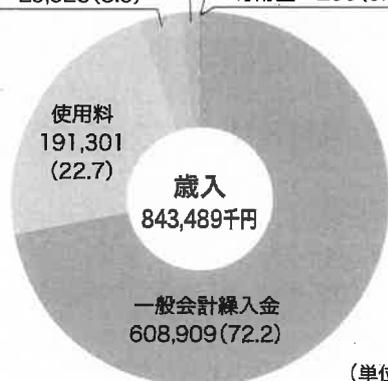
(1) 令和2年度 歳入歳出予算

歳入	科目等		金額
	使用料	授業料等	191,301千円
	手数料	入学選考料、入学金等	29,525千円
	寄附金		200千円
	諸収入		13,154千円
	受託研究		400千円
	一般会計繰入金		608,909千円
	歳入合計		843,489千円

歳出	科目等		金額
	給与費等		626,216千円
	管理運営費		129,256千円
	教育研究費		67,951千円
	図書館運営費		12,782千円
	教務・学生関連事業費		7,284千円
	歳出合計		843,489千円

◆歳入グラフ

諸収入 13,154(1.6) 受託研究 400(0.0)
手数料 29,525(3.5) 寄附金 200(0.0)



◆歳出グラフ

教育研究費 67,951(8.1) 図書館運営費 12,782(1.5)
教務・学生関連事業費 7,284(0.9)



(単位：千円、カッコ内は%)

(2) 外部資金の受け入れ状況

区分	令和元年度			
	新規申請	採択		金額
		新規	継続	
科学研究費助成事業	24件	2件	13件	15,132千円
厚生労働科学研究費補助事業			1件	10,000千円
国立研究開発法人科学技術 振興機構からの受託研究			1件	1,105千円
奨学寄附金			8件	1,296千円
受託研究			1件	400千円
学外共同研究			4件	4,380千円

10 施設の状況

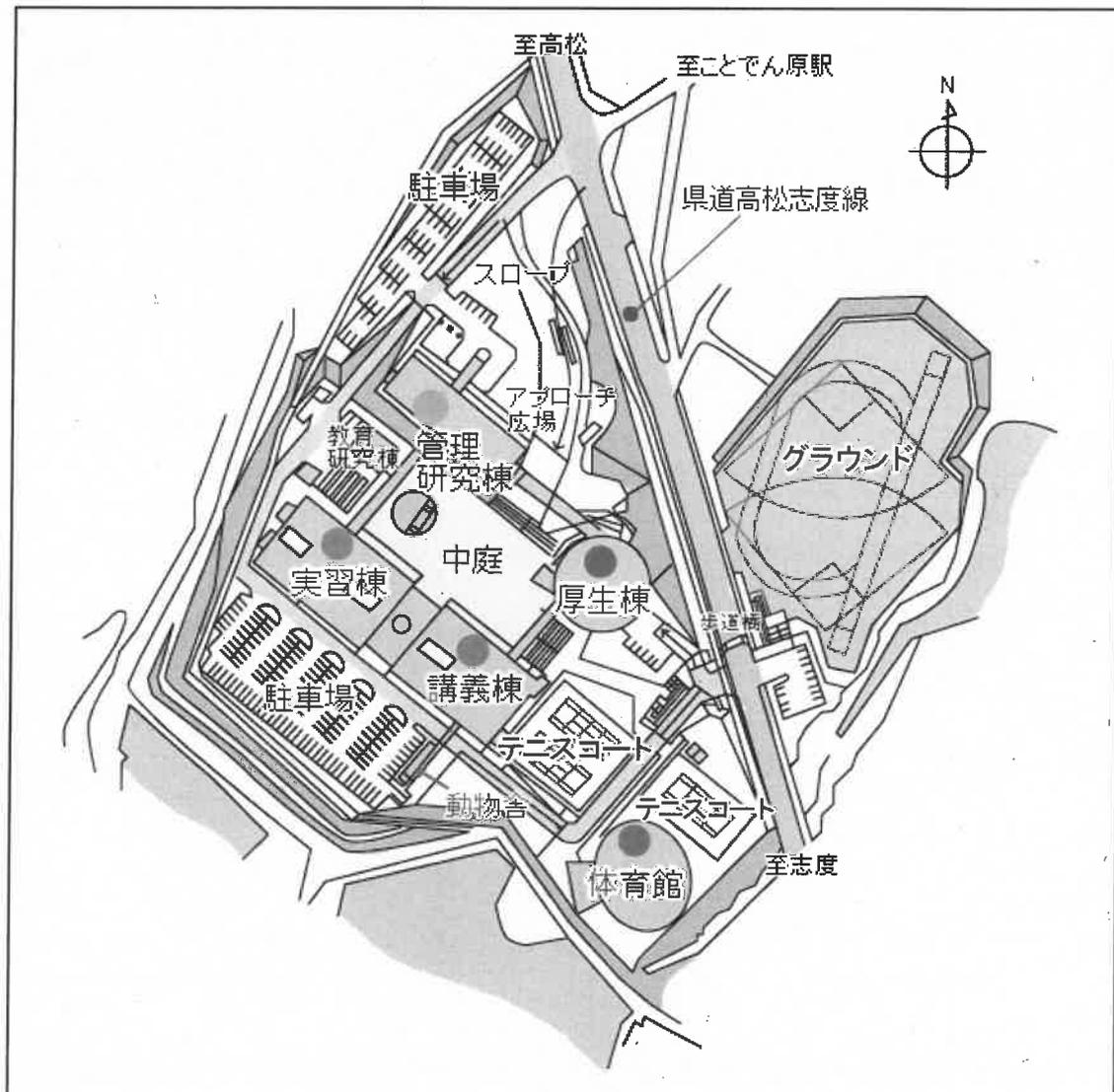
(1) 敷地面積

50,750.56㎡ (校舎敷地 38,173.56㎡、運動場用地 12,577㎡)

(2) 建 物

区 分		用 途	面 積
管理研究棟		学長室、副学長室、研究室、事務室、会議室、講師控室、保健室、学生相談室、応接室等	2,653.50㎡
教育研究棟		進路相談室、教材研究準備室、印刷室等	243.90㎡
講義棟	1・2階	講義室、情報処理教室等	4,718.55㎡
	3階	大講義室、臨床検査学科研究室等 (実習室、準備室、顕微鏡観察室等)	
実習棟	1・2階	看護学科研究室等(実習室、準備室、展示室等)、 学生更衣室	5,005.20㎡
	3階	臨床検査学科研究室等(実習室、準備室、標本室等) 大学院生研究室	
厚生棟		図書館、学生ホール・食堂、サークル室、音楽室、 和室等	1,982.15㎡
体育館		アリーナ、ステージ、シャワー室、更衣室、 器具庫等	1,168.05㎡
動物舎		飼育室、実験室等	99.40㎡
サークル室棟		サークル室、倉庫等	62.24㎡
車庫			54.42㎡
駐輪場			100.78㎡
ゴミ置場			26.71㎡
ガスボンベ庫			5.83㎡
計			16,120.73㎡

(3) 建物配置図



11. 研究活動 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)
2019年度研究業績データベース (書籍)

所属 (入力例)	研究者 ○○ ○○ △△ △△ □□ □□	年度	和文・英文	書名・タイトル ○○○○	記述ページ P1-8	原著名・編者 (採本の場合)	出版社	出版地 (都道府県名)	出版年月
看護学科	小林 秋恵	2019	和文	事例で学ぶ脳・神経疾患患者の看護 「脳梗塞患者の看護」	P312-320	ナーシング・グラフィカEX 疾 患と看護⑤脳・神経 編者：水 原信治、高木康志、田村綾子 法橋尚宏編著	〇〇〇〇	香川県	2019年4月
看護学科	阿西 幸恵	2019	和文	看護師試験ラピッドスタディ2020 第15 版	P62-67,181- 187,204-211		MCメデイカ出版 EDITEX	大阪市 東京	2020年1月 2019年8月
看護学科	松村 麗子	2019	和文	2020年度新版 助産師業務要覧 基 礎編	P205-218	福井トシ子編著、共著(担当区 分：第7章「助産師を取り巻く課 題」)			
看護学科	堀田 敦子	2019	和文	ナーシング・グラフィカEX 疾患と 看護④女性生殖器7子宮の疾患	P163-209	ナーシング・グラフィカEX 疾 患と看護④女性生殖器 編者： 市原裕、渡辺洋子	MCメデイカ出版	大阪市	2020年1月
看護学科	竹内 千夏	2019	和文	看護師試験ラピッドスタディ2020 第15 版	p166-180、 226-235	法橋尚宏編著	EDITEX	東京	2019年8月
看護学科	須崎亜季子	2019	和文	医療的ケア児への相談支援機能をも つ訪問看護所育成に向けた地域包 括ケアを目指す教育プログラムの開 発。	P25-29	公益社団法人在宅医療助成 勇 美記念財団2018年度 完了報告 書 榎原厚子編		東京	2019年4月
看護学科	土岐 弘美	2019	和文	看護師試験 2020 ラピッドスタ ディ	P166-180 P314-328	法橋尚宏編著	EDITEX		

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻(号)	記述ページ	発行年
(入力例)	〇〇 〇〇 △△ △△ □□ □□	2019	原著	和文	〇〇〇〇	△△△	20(2)	P1-8	2019
臨床検査学科	Jun Okuda, Syouya Nagata, Masashi Yasuda, Chigusa Suezawa	2019	原著	英文	Validating the inhibitory effects of D- and L-serine on the enzyme activity of D-3-phosphoglycerate dehydrogenases that are purified from <i>Pseudomonas aeruginosa</i> , <i>Escherichia coli</i> and human colon	Gut Pathogens		11	2019
教養部	Takayama F, Fujihara Y, Tsuno W, Kamatani H, Kabuto H, Maekura M.	2019	原著	英文	Opposite Effects of Metformin against Non-Alcoholic Fatty Liver Disease, Depend on Steatosis Grade	Advances in Clinical Toxicology	4(2)		
臨床検査学科	Oguri M, Saito Y, Okanishi T, Matsuura Y, Akiyama S, Ikeguchi T, Nariita A, Hirooka Y, Maegaki Y	2019	原著	英文	High-frequency component in flash visual evoked potentials in type 3 Gaucher disease	Brain Dev	42(1)	P19-27	2019
臨床検査学科	Kanai S, Oguri M, Okanishi T, Itamura S, Baba S, Nishimura M, Homma Y, Maegaki Y, Enoki H, Fujimoto A	2019	原著	英文	Symmetry of ictal slow waves may predict the outcomes of corpus callosumy for epileptic spasms	Sci Rep	9(1)	P1-7	2019
臨床検査学科	Ueda R, Takeichi H, Kaga Y, Oguri M, Saito Y, Nakagawa E, Maegaki Y, Inagaki M	2019	原著	英文	Atypical gamma functional connectivity pattern during light sleep in children with attention deficit hyperactivity disorder	Brain Dev	42(2)	P129-139	2019
臨床検査学科	Kaoru Ogo, Kenji Kanenishi, Nobuhiro Mori, Mohamed Ahmed Mostafa AboEllail, Toshiyuki Hata	2019	原著	英文	Change in fetal behavior in response to vibroacoustic stimulation	J. Perinat. Med.	47(5)	558-563	2019
助産学専攻科	野口麻子, 竹内美由紀, 佐々木穂子, 石原留彦, 藤岡由紀, 阿部穂, 松木由美, 松下有希子, 松本おどり, 森本典子, 荻井美智子, 小松千佳, 塩田敦子	2019	原著	和文	「性の差による」プロラクチン受容体発現の18年間の追跡調査	香川県保健衛生学会誌	19(1)	23-29	2019
	Saushi Tada, Shoichi Kanayama, Akemi Miyagawa, Munetaka Takahashi	2019	原著	英文	Method for Rh blood group testing using a general-purpose automated biochemical analyzer	Int J Anal Bio-Sci.	7(4)	84-88	2019
	Tada S, Shiota A, Hayashi H, Nakamura T	2019	原著	英文	Reference ranges for protein level and physiological variation in healthy young adults: relation of sexes by fasting	Heliyon.	6(1)		2020
看護学科	Sinji Kitaoka, Yoshihiro Saito, Yuko Shiratake, Naoki Yashinaen, Hiroko Kunikida	2019	原著	英文	Effectiveness of the recovery of self-esteem in convicts through cognitive therapy led by nurses	Japanese Journal of International Nursing Care Research	18(1)	47-56	2019
看護学科	石田康知子, 井村直, 江口英希, 渡邊真紀, 藤田弘之	2019	原著	和文	高校生の自衛隊への就職意向に関する調査の検討	厚生労働省の指標	66(13)	36-42	2019
看護学科	石田康知子, 井村直, 渡邊真紀, 江口英希, 小池麻弘, 山形真由美, 藤田弘之	2019	原著	和文	警察官の認知機能低下における友人によるサポートに関する調査	社会医学研究	36(1)	45-51	2019
臨床検査学科	Tatsuya Morishita, Yasuomi Tokihara, Hiroyuki Ohsaki, Emi Itoaki, Kyohi Kato, and Eikhiro Hanawa	2019	原著	英文	Activation and Expression of Peritoneal Prefilifer-Activated Receptor Alpha Are Associated with Tumorigenesis in Colorectal Carcinoma	PPAR Research			2019
臨床検査学科	Takashi Himoto, Keiko Miyatake, Takashi Maeba, Tsutomu Maseki	2020	原著	英文	Verification of the hormonal and nutritional factors associated with skeletal muscle volume loss in Japanese patients with nonalcoholic fatty liver disease.	Can J Gastroenterol Hepatol	in press		
看護学科	木戸久美子, 藤田久美	2019	原著	和文	発達障害児の母親の精神健康と育児上の苦悩がかりに際するFramework matrixを用いた質的研究	医療と社会	29(1)	135-154	2019
看護学科	Kumiko Kido	2019	その他	英文	Current Changes to Midwifery Education Programmes in Japan: a Comparison with Thailand	香川県立保健医療大学雑誌	11	43-52	2020
看護学科	Rumi Ishihara, Keiko Nagamine, Mari Haku, Hirokazu Uemura, Yukie Matsuura, Toshiyuki Yasui	2019	原著	英文	Prevalence and factors related to hot flashes and night sweats in postpartum women in Japan	International Journal of Nursing and Midwifery	12(1)	14-21	2020
看護学科	小林秋穂, 岩本真紀, 竹内千夏, 三浦浩美, 平木民子	2019	原著	和文	初めての看護学臨床実習前の総合技術演習の設計と評価	香川県立保健医療大学雑誌	11	P 15-23	2020

2019年度研究業績データベース(学会発表)

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
(入力例)	〇〇 〇〇 △△ △△ □□ □□	2019	国内学会	特別講演	〇〇〇〇	△△△	高松市	2019年4月
臨床検査学科	末澤 千草、安田 仁、奥田 潤	2019	国内学会	一般演題	serA 遺伝子を介した緑膿菌の腸管上皮細胞層透過に対するL-serine の添加の影響	第67回日本化学療法学会総会	東京都文京区	2019年5月
臨床検査学科	七條 唯人、末澤 千草、安田 仁、奥田 潤	2019	国内学会	一般演題	緑膿菌、大腸菌およびヒト由来D-3-Phosphoglycerate dehydrogenase の精製とそれらの酵素活性に対するD-およびL-serin添加の影響	第14回日本臨床検査教育学会学術大会	熊本県熊本市	2019年8月
臨床検査学科	末澤 千草、河東 康彦、坂井 貴光、奥田 潤	2019	国内学会	一般演題	魚類エドワジエラ症原因細菌のTTSS遺伝子クラスターに存在する機能未知遺伝子のヒラメに対する病原性解析	第93回日本細菌学会総会	愛知県名古屋	2020年2月
教養部	加太英明、多田達史、森西起也、平川栄一郎	2019	国内学会	一般演題	高脂肪食および鉄イオン投与によるマウス肝臓抗酸化機能への影響	第73回日本栄養・食糧学会大会	静岡市駿河区	2019年5月
臨床検査学科	安田 菜奈子、佐藤 研吾、青江 康貴、小川 絢女、松浦 由佳、秋山 翔太、大栗 聖由、広岡 保明	2019	国内学会	一般演題	4型胃癌に対する体外式超音波検査	第92回日本超音波医学会	東京都	2019年5月
臨床検査学科	松浦 由佳、大栗 聖由、斎藤 義朗、秋山 翔太、前垣 義弘	2019	国内学会	一般演題	小児小脳疾患におけるABRのV波振幅の低下	第61回日本小児神経学会学術集会	愛知県名古屋	2019年5月
臨床検査学科	Shota Akiyama, Masayoshi Oguri, Masayoshi Nishiyama, Yuka Matsuura, Yoshiaki Saito, Yoshio Iwai, Yasuaki Hirooka, Yoshihiro Maegaki	2019	国際学会	一般演題	Early differentiation of acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion from febrile status epilepticus using EEG analysis	第21回International Symposium on Status Epilepticus	愛知県名古屋市	2019年5月
臨床検査学科	上田 理誉、竹市 博臣、加賀 佳美、斎藤 良彦、中川 栄二、前垣 義弘、稲垣 真澄	2019	国内学会	一般演題	小児ADHD浅睡眠脳波におけるガンマ帯域の脳連結パターンについて	第49回日本臨床神経生理学会学術集会	福島県	2019年11月
臨床検査学科	黒岩 駿也、佐藤 研吾、秋山 翔太、安田 菜奈子、若松 宏海、大栗 聖由、加藤 雅彦、廣岡 保明	2019	国内学会	一般演題	胆嚢血腫の一例	日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会抄録集52回	島根県松江市	2019年11月
臨床検査学科	山崎 彩香、佐藤 研吾、大栗 聖由、秋山 翔太、安田 菜奈子、野上 智、福田 哲也、廣岡 保明	2019	国内学会	一般演題	大腸癌術前における深部静脈血栓症リスク要因の検討	日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会抄録集52回	島根県松江市	2019年11月

臨床検査学科	岡本 翔也, 佐藤 研吾, 秋山 翔太, 安田 菜奈子, 池口 拓哉, 大栗 聖由, 加藤 雅彦, 廣岡 保明	2019	国内学会	一般演題	神経超音波検査が有用であった左鎖骨上窩神経鞘腫の一例	日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会 抄録集52回	島根県松江市	2019年11月
臨床検査学科	Masayoshi Oguri, Yoshiaki Saito, Shota Akiyama, Takuya Ikeguchi, Aya Narita, Yasuaki Hirooka, Yoshihiro, Maegaki	2019	国際学会	一般演題	High-frequency oscillation in flash visual evoked potentials in type 3 Gaucher disease	15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology	Malaysia	2019年9月
臨床検査学科	大栗聖由, 上原一剛, 秋山翔太, 池口拓哉, 佐々木 強, 丸本恵, 前垣義弘	2019	国内学会	一般演題	脳波検査電極配置に使用する教育用トレーナ	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会	熊本県熊本市	2019年8月
臨床検査学科	池口拓哉, 大栗聖由, 秋山翔太, 佐藤健吾, 森徹自, 廣岡保明, 前垣義弘	2019	国内学会	一般演題	横隔膜超音波検査による健康小児の横隔膜筋厚および年齢発達の評価	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会	熊本県熊本市	2019年8月
臨床検査学科	脳波を用いたいれいれん重積型急性脳症(AESD)と熱性けいれん重積(FS)の早期鑑別	2019	国内学会	一般演題	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会	熊本県熊本市	2019年8月
臨床検査学科	小河 佳織, 森 信博, 山下 智也, 石橋 めぐみ, 伊藤 恵, 山本 健太, アボエイレイル モハメド, 金西 賢治, 秦 利之	2019	国内学会	一般演題	振動刺激に対する胎児反応の変化	第71回日本産科婦人科学会学術講演会	愛知県名古屋市	2019年4月
助産学専攻科	野口純子, 石原留美, 竹内美由紀, 松尾真璃, 眞鍋由紀子	2019	国内学会	一般演題	経産婦の後陣痛に対する経穴への温灸の効果	第60回日本母性衛生学会学術集会	千葉県舞浜市	2019年10月

2019年度研究業績データベース（主催学会：研究会）

所属	研究者	年度	学会・研究会名	開催地	発表年月
(入力例)	〇〇 〇〇 △△ △△ □□ □□	2019	〇〇〇〇	高松市	2019年4月
看護学科	松村千鶴	2019	第10回看護生理学研究会	岡山市	2019年8月
看護学科	塩田敦子	2019	第30回日本女性心身医学会研修会	高松市	2020年2月
看護学科	片山陽子	2019	第61回日本老年医学会学術集会	仙台市	2019年6月
看護学科	片山陽子	2019	第3回日本エンディングケア学会学術集会	名古屋	2019年9月
看護学科	片山陽子	2019	2019年度日本EOLケア学会研究会	福島市	2019年8月
看護学科	片山陽子	2019	2019年度オマハシステム研究会ITセミナー	名古屋	2019年10月
看護学科	片山陽子	2019	2022年度日本EOLケア学会研究会	京都市	2019年11月
看護学科	片山陽子	2020	かがわ訪問看護学びあい塾	高松市	2019年5月24日、7月12日、8月30日、9月20日、10月25日、12月12日、2020年1月17日、2月14日
看護学科	國方弘子 多田羅光美	2019	かがわメンタルヘルズ研究会	高松市	2019年5月15日、7月10日、9月25日、12月11日
看護学科	諏訪亜季子 松本裕子	2019	東京大学先端科学技術研究センター主催 重度重複障害者のICTを活用したコミュニケーションサポート研究会	高松市	2019年8月6日、2020年3月7日
看護学科	諏訪亜季子 松本裕子	2019	Team防災香川（防災科研究会）	高松市、丸亀市	4月18日、8月1日、8月6日、9月6日
看護学科	高嶋伸子 辻 よしみ	2019	報告会	高松市	4月21日、9月14日、12月21日
看護学科	辻 よしみ	2019	公衆衛生学会自由薬学予習で支援で用いるペアラメントトレーニング・子育てプログラムの実践と課題	高松市	10月24日
看護学科	諏訪亜季子 松本裕子 多田羅光美 未澤千草 高嶋伸子	2019	香川県医療保健福祉関係者等セミナー 新生児マススクリーニングをもっと身近に考えよう	高松市	
看護学科	舟越和代 三浦浩美 松本裕子	2019	第12回香川県小児保健協会研究会	高松市	2020年10月11日
看護学科	塩田敦子	2019	第30回日本女性心身医学会研修会	高松市	2020年2月2日

2019年度研究業績データベース(審議会委員等)

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間(日)
(入力例)	〇〇 〇〇 △△ △△ 〇〇 〇〇		2019年4月1日
助産学専攻科	野口純子	公益社団法人日本看護協会 助産師職能委員	2017年6月8日～
助産学専攻科	野口純子	公益社団法人香川県看護協会 助産師職能理事	2014年6月22日～
助産学専攻科	野口純子	香川県助産師出向支援推進協議会	2019年8月1日～
助産学専攻科	野口純子	公益社団法人日本看護協会 地域における実効性のある看護職連携モデルの構築・普及検討委員会	2019年6月14日～
助産学専攻科	野口純子	公益社団法人全国助産師教育協議会 理事	2019年6月20日～
看護学科	松村薫子	高松市男女共同参画推進懇談会委員	2018年4月1日～
看護学科	松村薫子	香川県男女共同参画推進懇談会委員	2018年4月1日～
看護学科	松村薫子	香川県助産師出向支援・院内助産推進協議会委員	2018年4月1日～
看護学科	松村薫子	日本助産学会代議員	2018年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	香川県精微管理専門委員	2018年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	生物試料分析科学会評議委員	2017年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	生物試料分析科学会中国四国支部理事	2013年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	香川県臨床検査技師研究会監事	2018年4月1日～
看護学科	園方弘子	令和元年度香川県精神障害者地域移行・地域定着支援推進事業運営協議会委員	2019年4月1日～

2019年度研究業績データベース(科研費)

所属	研究者	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額
(入カ例)	○○ ○○ △△ △△ □□ □□	2019	○○○○	基礎研究 (C)	新規	¥1,000,000
臨床検査学科	奥田 潤	2019	タイプII分泌機構に着眼した点類エンドワジエラ症原因細菌の病原機構の解明	基礎研究 (C)	継続	¥0 (期間延長申請により1,104,468円を繰り越し使用)
臨床検査学科	大栗聖由	2019	機械学習を利用した自己組織化マップによる急性脳症の早期診断および予後予測法の開発	若手研究	新規	1,200,000
看護学科	國方弘子	2019	自尊心回復グループ認知行動看護療法の医療経済学的評価	基礎研究 (C)	継続	¥0 (期間延長申請により700,400円を繰り越し使用)
看護学科	木戸久美子	2019	父親の発達特性を踏まえた産後うつ病支援・予防プログラムの開発	基礎研究 (C)	継続	1,218,615
看護学科	松村千晴	2019	安全・快適、コストパフォーマンスを実現する清潔ケアキットの開発と推進戦略の構築	基礎研究 (C)	継続	1,300,000
看護学科	片山陽子	2019	高齢者の尊厳ある死を目指す訪問看護師のターニングポイントの判断と実践の明確化	基礎研究 (C)	継続	910000
臨床検査学科	山口航	2019	単球サブセットの分化制御とMφのクリアランス障害に対するセマフォリンの機能解析	若手研究 (A)	新規	1,430,000
臨床検査学科	山崎未来	2019	白血球DNAメチル化を標的としたNAFLDの発症予測マーカーの開発	研究活動スタート支援	新規	1,430,000
看護学科	松本裕子	2019	新生児マススクリーニング陽性児の発症予防に関する介入(アクションリサーチ)		継続	¥0 (期間延長申請)
看護学科	諏訪亜季子	2019	在宅で暮らす重症心身障害児(者)と高齢者家族等の介護を担う多重介護の全国実態調査		継続	900000
看護学科	舟越和代	2019	レスパイトケアを活用した障害児の生涯における自立支援プログラムの開発	基礎研究 (C)	継続	400000
看護学科	中平洋子 土岐弘美	2019	精神障がい者のFamily Resilienceを促すガイドラインの活用	基礎研究 (C)	継続	
看護学科	土岐弘美	2019	軽度認知症の人の自己コントロールを高める看護支援プログラムの開発	基礎研究 (C)	継続	
教養部	新美健太	2019	新規抗酸化ストレス経路FOXO1-xCT系を標的としたリンパ管新生の制御	若手研究 (A)	新規	¥1,040,000

2019年度研究業績データベース（その他助成金）

所属 (入力例)	研究者 〇〇 〇〇 △△ △△ □□ □□	年度 2019	助成金の名称 〇〇〇〇	区分 奨学寄附金	新規・継続 新規	研究課題名 〇〇〇〇	補助金額 ¥1,000,000
臨床検査学科	奥田 潤	2019	キヤノンメディカルシステムズとの 学外共同研究	その他の助成金	継続	簡易分析装置の検査項目実現可能性 及び性能評価に関する研究	¥1,500,000
臨床検査学科	奥田 潤	2019	オサカ病院	奨学寄附金	継続	香川県立保健医療大学における研究 助成	¥50,000
臨床検査学科	大栗 翼由	2019	A-STEP	その他の助成金	新規	脳波解析技術とセンサ技術の融合による新 機脳波検査システムの開発	¥850,000
臨床検査学科	多田 達史	2019	キヤノンメディカルシステムズとの 学外共同研究	その他の助成金	継続	簡易分析装置の検査項目実現可能性 及び性能評価に関する研究	¥1,500,000
看護学科	岡西 幸恵	2019	安田記念医学財団（病看護研究助 成）	奨学寄附金	新規	再発・転移がんサバイバーの療養生活にお ける調剤に関する研究	¥300,000
看護学科	塩田 敦子	2019	ユニ・チャーム株式会社テクニカル センター（学外共同研究）	その他の助成金	継続	生理解毒ケア研究及び関連商品・サー ビスの研究	¥690,000
看護学科	塩田 敦子	2019	ユニ・チャーム株式会社テクニカル センター（学外共同研究）	その他の助成金	新規	月経・月経量研究及び関連商品・ サービスの研究	¥690,000
臨床検査学科	山崎未来	2019	エム・アイ・ユ-財団	その他の助成金	新規	マイクロRNAを標的とした敗血症バ イオマーカ-開発のための基礎的検 討	496,500
看護学科	新井 恵津子	2019	百十四銀行学術文化振興財団産業・学術 部門助成	奨学寄附金	新規	糖尿病患者の周手術期看護におけるエ キスパートナースの実践知の明確化	¥400,000
臨床検査学科	中村 文洋	2019	株式会社ツムラ研究助成	奨学寄附金	継続	急性脳浮腫における遺伝子損傷	100,000
臨床検査学科	中村 文洋	2019	医療法人社団寿愛会羽崎病院研究助 成	奨学寄附金	継続	急性脳浮腫における遺伝子損傷	50,000
			医療法人社団博秀会岸川脳神経外科 医院助成金	奨学寄附金	継続	急性脳浮腫における遺伝子損傷	50,000
			医療法人社団こくぶりた こくぶ脳 外科・内科クリニック助成金	奨学寄附金	継続	急性脳浮腫における遺伝子損傷	50,000

12. 管理運営

1) 教授会

【定例教授会】

回	日 時	審議事項
1	平成31年4月4日	1 休学について 2 共同研究の実施について
2	平成31年4月17日	1 平成31年度非常勤講師について 2 平成31年度非常勤講師（実習助手・演習助手）について 3 共同研究の実施について 4 平成31年度前期授業料等の減免等について 5 他大学への派遣について 6 名誉教授の称号授与について
3	令和元年5月8日	1 2019年度非常勤講師について 2 2019年度非常勤講師（実習助手）について 3 2019年度非常勤講師（臨地実習）への委嘱状の交付及び臨地教授等への称号授与について 4 2020年度入学者選抜要項について
4	令和元年5月22日	1 2019年度非常勤講師について 2 2019年度非常勤講師（実習助手）について 3 休学願について 4 看護学科教員（地域看護学、公衆衛生看護学）の公募について 5 看護学科教員（基礎看護学）の公募について 6 香川県立保健医療大学図書館資料除籍要綱の改正について 7 臨床検査学科カリキュラムポリシーの改正について 8 香川県立保健医療大学利益相反審査委員会規程について 9 香川県立保健医療大学記念フォーラム実施要領について 10 2019年度地域連携推進センター採択事業について 11 香川県立保健医療大学学則の改正について 12 評議会の設置に伴う香川県立保健医療大学規程について 13 香川県立保健医療大学要綱等の整備について
5	令和元年6月19日	1 倫理審査委員会規程の様式の改正等について 2 教員の再任について 3 令和元年度非常勤講師について 4 令和2年度学年暦について 5 2021年度からの大学入学者選抜改革について【看護学科】
6	令和元年7月3日	1 臨地非常勤（及び臨地教授等）の追加について
7	令和元年7月17日	—
8	令和元年8月7日	1 令和2年度助産学専攻科入学者選抜方法等の概要について

回	日 時	審議事項
		2 令和2年度助産学専攻科入学試験実施要領について 3 令和2年度助産学専攻科学生募集要項について 4 令和2年度推薦入学試験実施要領について 5 令和2年度推薦入学試験学生募集要項について 6 令和2年度一般入学試験実施要領について 7 令和2年度一般入学試験学生募集要項について 8 看護学科教員（在宅看護学 教授又は准教授）の公募について 9 臨床検査学科教員（血液検査学ほか 准教授）の公募について 10 教養部教員（英語 教授）の公募について 11 奨学寄附金取扱規程の改正について 12 共同研究の実施について 13 教員（看護学科 地域看護学、公衆衛生看護学 准教授又は講師）の選考について 14 教員（臨床検査学科 臨床生理学ほか 准教授又は講師）の選考について 15 教員の再任について
9	令和元年9月4日	1 休学願について 2 退学願について 3 令和元年度非常勤講師について
10	令和元年10月2日	1 休学願について 2 看護学科に係る教育課程の変更に伴う承認申請等について
11	令和元年10月16日	1 令和元年度後期授業料等の減免等について
12	令和元年11月6日	1 2020（令和2）年度助産学専攻科入学試験について 2 2020（令和2）年度推薦入学試験について 3 2021年度入学試験実施計画について 4 令和元年度非常勤講師について 5 他大学への派遣について
13	令和元年11月20日	1 2021年度入学試験実施計画について 2 2021年度からの大学入学者選抜改革について
14	令和元年12月4日	1 教員（教養部 英語 教授）の選考について 2 2020（令和2年度）助産学専攻科入学試験の合否判定について 3 2021年度からの大学入学者選抜改革について
15	令和元年12月18日	1 教員（看護学科 在宅看護学 准教授）の選考について 2 教員（臨床検査学科 血液検査学 准教授）の選考について 3 教員の昇任について 4 2020（令和2）年度推薦入学試験の合否判定について

回	日 時	審議事項
16	令和2年1月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員（臨床検査学科 血液検査学 准教授）の選考について 2 共同研究について（香川県立保健医療大学研究費取扱要綱の改正等）
17	令和2年1月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員の昇任について 2 評議会で審議する諸規程の改正について 3 ティーチング・アシスタント配置希望科目について
18	令和2年2月5日	<ol style="list-style-type: none"> 1 一般入学試験（前期日程）について 2 一般入学試験（後期日程）について 3 復学願について 4 令和2年度非常勤講師について 5 卒業判定・修了判定について 6 学長賞について 7 評議会の資料について 8 副学長、学生部長、図書館長、学科長、教養部長及び専攻科長の指名について
19	令和2年2月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1 一般入学試験（前期日程）について 2 一般入学試験（後期日程）について 3 共同研究の受入れについて 4 受託研究の受入れについて
20	令和2年3月4日	<ol style="list-style-type: none"> 1 一般入学試験（前期日程）の合否判定について 2 学則の改正について 3 進級判定について 4 復学願について 5 退学願について 6 令和2年度非常勤講師（追加）について 7 令和2年度実習指導助手について 8 非常勤講師に関する申合せ事項の改正について 9 「英語Ⅲ」の配当時期変更に係る国への提出について 10 学内委員会等委員の選任について
21	令和2年3月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 一般入学試験（後期日程）の合否判定について 2 保健師教育課程選択可能者の合否判定について 3 進級基準等の改正について 4 退学願について 5 授業料等の減免等に関する取扱要綱の制定について 6 2021年度からの大学入学者選抜者改革について

2) 研究科委員会

【定例研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	平成 31 年 4 月 4 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 休学について 2 修了生の奨学金返還免除について
2	令和元年 5 月 8 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度入学者選抜方法等の概要について 2 2020年度博士前期課程（看護学専攻）入学試験実施要領について 3 2020年度博士後期課程（看護学専攻）入学試験実施要領について 4 2020年度博士前期課程（臨床検査学専攻）入学試験実施要領について 5 2020年度博士後期課程（臨床検査学専攻）入学試験実施要領について
3	令和元年 6 月 19 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 博士前期課程（看護学専攻）カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーの改正について 2 博士前期課程（臨床検査学専攻）カリキュラムポリシーの改正について 3 博士前期課程授業科目表（看護学・臨床検査学専攻）の改正等について 4 臨床検査学専攻博士後期課程博士論文審査基準の改正について 5 修士学位取得要項（看護学・臨床検査学専攻）の改正について 6 2020（令和2）年度学生募集要項（看護学専攻）について 7 2020（令和2）年度学生募集要項（臨床検査学専攻）について 8 香川県立保健医療大学研究科委員会規程の改正について
4	令和元年 7 月 3 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 2020（令和2）年度学生募集要項（看護学専攻）について 2 2020（令和2）年度学生募集要項（臨床検査学専攻）について 3 令和2年度大学院保健医療学研究科の担当教員候補の推薦について
5	令和元年 8 月 7 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 香川県立保健医療大学大学院 博士前期課程 出願資格診査要綱の一部改正について 2 博士前期課程における学生募集に係る選抜区分及び選抜方法等に関する取扱いの一部改正について
6	令和元年 9 月 4 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 復学願について
7	令和元年 10 月 16 日	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度博士後期課程博士論文研究計画書に係る研究計画書審査委員の選出について

回	日 時	審議事項
		2 大学院保健医療学研究科臨床検査学専攻 博士後期課程学位 取得プロセスの改正について 3 令和2年度大学院入学試験について 4 退職願について
8	令和元年11月6日	1 2020(令和2)年度入学試験の合否判定について 2 退学願について 3 博士論文研究計画書について
9	令和元年12月4日	1 保健医療学研究科 修士論文題目について 2 臨床検査学専攻博士後期課程 博士論文予備審査に係る博士 論文予備審査委員の選出について 3 令和2年度大学院保健医療学研究科の担当教員候補の推薦に ついて
10	令和2年1月8日	1 令和2年度大学院保健医療学研究科の科目担当教員の資格診 査について 2 博士論文予備審査結果について 3 令和2年度大学院入学試験(2次募集)について 4 香川県立保健医療大学学位規程の改正について 5 令和2年度大学院入学試験出願資格診査について
1.1	令和2年2月5日	1 2020(令和2)年度入学試験(2次募集)の合否判定につい て 2 修士論文審査委員について 3 博士論文審査委員について 4 令和元年度研究計画書について 5 長期履修について 6 令和2年度研究科担当教員候補の推薦について 7 ティーチング・アシスタントの募集について 8 研究科長及び専攻長の指名について
12	令和2年3月4日	1 修了判定について 2 令和2年度研究科担当教員の選考について 3 大学院学則の改正について 4 大学院学則の改正について 5 令和2年度非常勤講師について 6 復学願について 7 ティーチング・アシスタントの配置について 8 学内委員会等委員及び研究科専門委員会委員の選任について

【臨時研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	平成 31 年 4 月 17 日	1 平成 31 年度研究指導員及び修士・博士論文題目について
2	令和元年 11 月 20 日	1 2020 年度入学者選抜方法等の概要（博士後期課程（看護学専攻）・博士後期課程（臨床検査学専攻）（二次募集）について 2 2020 年度入学試験実施要領（博士前期課程（看護学専攻）・博士後期課程（臨床検査学専攻）（二次募集）について 3 2020（令和 2）年度学生募集要項（博士前期課程（看護学専攻）（二次募集）について 4 2020（令和 2）年度学生募集要項（博士後期課程（臨床検査学専攻）（二次募集）について

3) 学内委員会

【総務企画委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年 5 月 15 日	1 評議会の設置に伴う規定の整備について 2 臨床検査学科のカリキュラムポリシーの見直しについて 3 利益相反審査委員会について
2	令和元年 6 月 5 日	1 博士前期課程（看護学専攻）カリキュラムポリシー等の見直しについて 2 博士前期課程（臨床検査学専攻）カリキュラムポリシー等の見直しについて
3	令和元年 7 月 4 日	1 高等教育無償化制度への対応について 2 奨学寄附金取扱規程の改正について
4	令和元年 9 月 26 日	1 看護学科カリキュラムポリシーの改正について 2 実習棟の掲示板の増設について 3 その他
5	令和元年 12 月 25 日	1 評議会で審議する諸規程の改正について 2 共同研究について 3 その他
6	令和 2 年 3 月 9 日	1 大学院の拡充に係る事項について 2 専門職向けの研修について 3 学内委員会活動状況報告について 4 その他

【毒劇物等・廃棄物専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年 6 月 6 日 (木)	1 毒劇物等の管理等委任簿の確認について 2 毒劇物等の定期検査の実施について 3 廃液等の処理について 4 有害物質使用特定施設定期点検について 5 その他

【動物実験専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年 5 月 22 日 (水)	1 動物実験計画書について 2 動物実験に関する自己点検・評価報告書について 3 ホームページ掲載事項について
2	令和 2 年 3 月 5 日 (木)	1 動物実験計画書について

【遺伝子組換え実験安全委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和 2 年 2 月 13 日 (木)	1 提出のあった遺伝子組換え実験計画の申請について

【教務委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	平成 31 年 4 月 15 日	1 年間計画について 2 非常勤講師の委嘱について 3 非常勤講師（実習助手、演習助手）の委嘱について 4 平成 31 年度単位互換について（徳島文理大学科目履修希望者あり） 5 平成 31 年度前期履修登録の状況について 6 臨地実習に伴う臨地実習指導教授等の称号授与及び非常勤講師の委嘱について 7 特別講義講師・授業支援者について 8 学外実習の受け入れについて（報告） 9 来年度のシラバスについて（臨床検査学科）
2	令和元年 5 月 28 日	1 非常勤講師の委嘱について（追加） 2 前期試験及び後期履修登録について 3 令和 2 年度学年暦（案）について 4 学外見学について（ウイルス・真菌検査学実習）

回	日 時	審議・報告事項
		5. 特別講義について（及び「学外教員等の授業参画」の取り決めについて） 6 令和元年度の教務委員会の目的・目標・活動内容の設定 7 令和元年度シラバスに関する聞き取り調査結果について
3	令和元年6月27日	1 臨地非常勤講師（及び臨地教授等）の追加について 2 学部前期試験時間割について（掲示前最終報告）及び学生への周知事項について 3 教育講演会（臨床検査学科）について 4 「生物学実験」臨地実験実習について 5 「成人看護学Ⅲ」大島青松園の見学について 6 特別講義について 7 学外教員等の授業参画について 8 来年度の教養ゼミナールについて 9 講義棟へのWifi設置について（3部屋限定）
4	令和元年7月31日	1 令和元年度後期履修登録の状況について（1・2年生及び専攻科） …看護学科2年生の「医療統計学Ⅰ」の履修について 2 令和2年度非常勤講師について（内諾確認開始） 3 特別講義・授業支援について 4 学外見学について 5 カリキュラム変更に係る今後のスケジュールについて
5	令和元年8月28日	1 休学願について 2 退学願について 3 令和元年度非常勤講師の委嘱について（追加） 4 特別講義について 5 令和元年度前期試験について 6 成績根拠資料の保管について 7 令和元年度後期履修登録の結果について 8 令和2年度時間割案の学内調整期間について 9 令和2年度シラバス（授業科目一覧表含む）の作成及び作成要領について 10 講義棟のWi-Fiについて（報告） 11 来年度からの英語Ⅰ・Ⅱの授業について（教養部）
6	令和元年9月24日	1 休学願について 2 教育講演会（教養部）について 3 特別講義講師・授業支援者について 4 試験答案等保管のルールについて（再案） 5 令和2年度シラバス作成要領について 6 令和2年度からの看護学科カリキュラム変更について
7	令和元年10月29日	1 令和元年度下半期教務関係スケジュールについて

回	日 時	審議・報告事項
		2 令和元年度非常勤講師の委嘱（追加）について 3 前期履修登録について（顛末書） 4 令和元年度後期単位互換制度利用希望者について 5 特別講義講師について 6 授業支援者について 7 学外見学について（報告）
8	令和元年12月9日	1 卒業・修了判定及び進級判定の日程について 2 後期試験について 3 学長賞候補予備選考について 4 令和2年度 年度始めのオリエンテーション日程について 5 令和2年度非常勤講師について（内諾状況報告） 6 令和2年度 単位互換科目について 7 授業支援者について 8 解剖学実習の見学について 9 次年度からの英語Ⅲ・Ⅳについて
9	令和2年1月14日	1 卒業式・修了式について 2 ティーチングアシスタント配置希望科目申請書について 3 試験監督手順書等について 4 健康食品管理士養成校認定更新申請について 5 教育講演会について（専攻科） 6 ディプロマポリシーと科目の対応表について
10	令和2年2月5日	1 復学願について 2 令和2年度単位互換科目について 3 令和2年度非常勤講師について 4 卒業判定・修了判定について 5 学長賞（成績優秀者本選考）について 6 入学式（案）について 7 令和2年度時間割（案）について 8 令和2年度講義室予約について 9 令和2年度前期履修手続等について 10 令和元年度後期成績通知書の配付について 11 学外見学（専攻科）について 12 看護学科及び助産学専攻科実習施設の確認について
11	令和3年3月4日	1 復学願について 2 退学願について 3 特別講義について 4 令和2年度非常勤講師（追加）について 5 令和2年度実習指導助手について 6 進級判定について

回	日 時	審議・報告事項
		7 令和2年度単位互換について 8 学部学則変更及び「英語Ⅲ」配当時期変更に係る国への届出について 9 「香川県立保健医療大学非常勤講師に関する申合せ事項」の改正について 10 学外講師の授業参画に係る資料の改正について 11 食品衛生管理者等養成校に関する確認について（依頼） 12 令和2年度臨地教授等称号授与者等の対象者の確認について（依頼） 13 ディプロマポリシーと科目の対応表について 14 「進級基準等」の改正について

【学生委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	平成31年4月12日	1 授業料減免について 2 学生委員会年間計画について 3 新入生歓迎会について 4 学生・教員連絡会議年間計画について 5 後援会だよりについて 6 学生の安否確認訓練の実施について 7 学生の健康診断について 8 学生団体設立について 9 その他
2	令和元年5月9日	1 後援会だよりについて 2 サークルについて 3 学生の安否確認訓練の実施について 4 新入生宿泊研修について 5 その他
3	令和元年9月5日	1 学生・教員連絡会議について 2 学生要望について 3 LINKtoposについて 4 「臓器移植」出前講座の開催について 5 学生の「はじめての子宮頸がん検診応援事業」について 6 その他
4	令和元年10月9日	1 授業料減免について 2 学生相談（前期）について 3 後援会実施の卒業記念事業について 4 「臓器移植」出前講座について 5 大学祭の担当について

		6 学生の「情報モラル・セキュリティ研修」について 7 臨時の学生・教員連絡会議について 8 学生要望について 9 その他
5	令和2年1月9日	1 令和2年度学生の健康診断について 2 卒業式・修了式関係について 3 学生の駐車場利用について 4 学生掲示板について 5 その他

【教務・学生合同委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和2年2月5日	1 学長賞について 2 卒業式・修了式について

【入試委員会】

回	日時	審議・報告事項
1	平成31年4月26日 (金)	①2020年度(学部)入学者選抜要項 ②2020年度(大学院)入学者選抜方法等の概要 ③2020年度(大学院)入学試験実施要領 ④大学入学者選抜改革における評価方法 ⑤2018年度の振り返り(評価・改善等)
2	6月11日(火)	①大学院学生募集要項について(看護学専攻・臨床検査学専攻) ②「大学入学者選抜改革」における評価方法について
3	7月22日(月)	①助産学専攻科 選抜方法等の概要 ②助産学専攻科入学試験 実施要領 ③助産学専攻科「学生募集要項」 ④推薦入学試験 実施要領 ⑤推薦入学試験「学生募集要項」 ⑥一般入学試験 実施要領 ⑦一般入学試験「学生募集要項」 ⑧大学院「出願資格審査申請書」「事前相談受付表」について
4	令和元年9月11日 (水)	①大学院入学試験の説明会について ②2020年度から実施の大学入学者選抜改革(各科における評価方法における基準等の明確化)について
5	令和元年10月23日 (水)	①助産学専攻科 入学試験説明会について ②推薦入学試験 入学試験説明会について

回	日 時	審議・報告事項
		③大学入学者選抜改革について ④2020年度入学試験実施計画について
6	令和元年11月13日 (水)	①.看護学専攻博士前期課程二次学生募集について ②.臨床検査学専攻博士後期課程二次学生募集について ③.大学入学者選抜改革の方針と各科の具体的事項の再検討について
7	令和元年12月23日 (月)	①.看護学専攻博士前期課程・臨床検査学専攻博士後期課程入試(二次募集)について ②.センター試験動員について
8	令和2年1月28日 (月)	①.2020(令和2)年度一般入学試験(前期日程・後期日程)説明会について ②.入試改革について
9		

【図書委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	平成31年4月24日 (水)	1 平成31年度図書委員会年間計画表(タイムスケジュール)について 2 図書館収集方針について 3 平成31年度選書方法について 4 香川県立保健医療大学図書館資料除籍要綱の改正について 5 視聴覚資料の購入について
2	令和元年6月6日 (木)	1 洋図書の購入について 2 長期貸出資料の除籍について 3 除籍が決定した研究費・教材費で購入した資料の除籍の取り消しについて
3	令和元年9月25日 (水)	1 洋図書リクエストで希望のあった資料の購入について 2 研究費・教材費で購入した資料の除籍について 3 除籍資料の取り消しについて 4 2020年1-12月の洋雑誌(オンラインジャーナル、冊子体)について 5 2020年度和雑誌・新聞について 6 2020年度データベースについて 7 第2回からの継続審議事項について 8 図書館所蔵資料の除籍方針について

4	令和元年 12 月 3 日 (火)	1 図書館所蔵資料の除籍方針について 2 リクエストで希望のあった視聴覚資料の購入について
5	令和 2 年 2 月 21 日 (金)	1 図書館所蔵資料の除籍について 2 令和2 (2020) 年度の和雑誌の購入について 3 視聴覚リクエストで希望のあった資料の購入について 4 研究費・教材費で購入し除籍が決定した資料の除籍の取り消しについて
6	令和 2 年 3 月 3 日 (火)	1 図書館資料の除籍について 2 視聴覚リクエストで希望のあった資料の購入について

【情報ネットワーク委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和 2 年 1 月 24 日	1 学生用Wi-Fi整備事業について 2 その他

【FD・SD委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和元年 5 月 15 日	1 今年度の計画について 2 FD体系化について 3 FD・SD講演会について 4 その他
2	令和元年 9 月 4 日	1 FD・SD講演会について 2 授業評価について 3 FD・SD体系化について 4 その他
3	令和 2 年 1 月 30 日	1 ティータイム教育サークルについて 2 令和2年度FD・SD講演会 (SPOD内講師派遣プログラム) のテーマについて 3 委員会 (2年間) の総括について 4 その他

【広報・公開講座委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	平成 31 年 4 月 10 日	1 平成31年度広報計画及び年間行事予定表について 2 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 3 オープンキャンパスの開催計画について 4 公開講座の開催計画について 5 その他

2	令和元年5月14日	1 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 2 オープンキャンパスの開催計画について 3 公開講座の開催計画について 4 大学広報誌について
3	令和元年6月25日	1 オープンキャンパスについて 2 ミニオープンキャンパスについて 3 公開講座について 4 大学広報誌について
4	令和元年9月9日	1 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の実施報告について 2 オープンキャンパスの実施報告及び改善事項(案)について 3 ミニオープンキャンパスについて 4 第1回公開講座の実施報告について 5 第2回公開講座について
5	令和元年11月29日	1 ミニオープンキャンパスの実施報告について 2 第2回公開講座の実施報告について 3 大学広報誌について 4 令和2年度広報計画について
6	令和2年1月29日	1 令和2年度広報計画(案)について 2 令和2年度行事日程について

【研究委員会】

回	日時	審議・報告事項
1	令和元年6月11日 (火)	① e-ラーニングについて ② 科学研究費助成事業について ③ 学内研究報告会について

【国際交流委員会】

回	日時	審議・報告事項
1	5月15日(水)	① ミシシッピ大学との交流協定締結における結論について ② 2018年度国際交流委員会報告会実施について ③ 2018年度南アルバータ工科大学への留学実施について ④ 2018年度2回目の公益社団法人セカンドハンドのカンボジアプロジェクト支援について ⑤ 2019年度南アルバータ工科大学からの受け入れについて ⑥ 2019年度1回目の公益社団法人セカンドハンドのカンボジアプロジェクト支援について ⑦ 2019年度国際交流委員会報告会実施について

		⑧2019年度南アルバータ工科大学への留学実施について
2	6月5日(水)	①2019年度南アルバータ工科大学からの受け入れについて ②2019年度1回目の公益社団法人セカンドハンドのカンボジアプロジェクト支援について
3	7月1日(月)	①2019年度南アルバータ工科大学からの受け入れについて
4	10月3日(木)	①2019年度南アルバータ工科大学からの受け入れにおける反省、改善等について ②2019年度南アルバータ工科大学への留学募集について ③2019年度国際交流委員会報告会実施について ④2019年度1回目の公益社団法人セカンドハンドのカンボジアプロジェクト支援について
5	2月19日(水)	①2019年度国際交流報告会における反省・改善等について ②2019年度南アルバータ工科大学への留学について ③2020年度南アルバータ工科大学からの受け入れについて
6		
7		

【三大学連携推進委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	平成31年4月17日	1 2019年度 推進体制について 2 2019年度 計画について 3 その他

【進路支援委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年5月20日	1. 2019年度年間計画について 2. 研修報告（進路セミナー、接遇研修） 3. 県内就職促進の検討
2	令和2年3月5日	1. 2019年度年間計画実施報告 2. 令和元年度の進路内定状況 3. 令和2年度年間計画案

【自己点検・評価委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1		実績 なし

【倫理審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	平成31年4月24日	1. 委員の紹介について 2. 倫理審査申請書の審査について
2	令和元年5月29日	1. 倫理審査申請書の審査について 2. 香川県立保健医療大学利益相反審査委員会規定の制定について 3. 利益相反に関連した倫理審査申請書の改正案について
3	令和元年7月24日	1. 倫理審査申請書の審査について
4	令和元年11月13日	1. 倫理審査申請書の審査について
5	令和2年1月15日	1. 倫理審査申請書の審査について 2. 令和2年度の開催日程について

【利益相反審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年7月24日	1. 利益相反審査申請書の審査について
2	令和元年11月13日	1. 利益相反審査申請書の審査について
3	令和2年1月15日	1. 利益相反審査申請書の審査について 2. 令和2年度の開催日程について

【衛生委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年5月13日	1 委員会の運営及び年間計画について 2 職場巡視について 3 ヘルスアップセミナー講師派遣事業について
2	令和元年5月	1 職場巡視実施結果報告（4月分）
3	令和元年6月	1 職場巡視実施結果報告（5月分）
4	令和元年7月	1 職場巡視実施結果報告（6月分）
5	令和元年7月23日	1 衛生委員による職場巡視
6	令和元年8月	1 職場巡視実施結果報告（7月分）
7	令和元年9月	1 職場巡視実施結果報告（8月分）
8	令和元年9月11日	1 ヘルスアップセミナー
9	令和元年10月	1 職場巡視実施結果報告（9月分）
10	令和元年11月	1 職場巡視実施結果報告（10月分）
11	令和元年12月	1 職場巡視実施結果報告（11月分）

1 2	令和2年1月	1 職場巡視実施結果報告（12月分）
1 3	令和2年2月	1 職場巡視実施結果報告（1月分）
1 4	令和2年3月16日	1 健康診断結果について
1 5	令和2年3月	1 職場巡視実施結果報告（2月分）

【防火等管理委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和元年9月26日 (木)	1 令和元年度防災訓練の実施内容について 2 消防計画書について 3 その他

【地域連携推進センター運営委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和元年5月8日	1 令和元年度 センター事業の担当割当てについて 2 採択事業について 3 健康サポーター養成講座について 4 その他
2	令和元年6月14日	1 健康サポーター養成講座について 2 ライフサイエンス教室について 3 その他
3	令和2年2月18日	1 令和2年度保健医療従事者を対象とする研究に関する研修会実施要項について 2 令和元年度 事業報告について

【研究科専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	平成31年4月16日 (火)	1 平成31年度研究指導教員及び修士・博士論文題目について 2 修士論文中間報告会に関する実施要領について
2	令和元年5月28日 (火)	1 臨床検査学専攻博士後期課程 博士論文審査規程について 2 修士論文題目変更申請書の提出時期について 3 博士前期課程専攻共通科目について
3	令和元年8月28日 (水)	1 臨床検査学専攻博士後期課程学術セミナーの開催について 2 臨床検査学専攻博士後期課程研究計画審査委員の選出について 3 看護学専攻博士後期課程学術セミナーの開催について 4 特別講義について 5 復学について 6 本年度修士論文題目変更の提出時期について
4	令和元年10月8日 (火)	1 臨床検査学専攻博士後期課程学位取得プロセスについて 2 臨床検査学専攻博士後期課程学術セミナーについて

		3 看護学専攻博士後期課程学術セミナーについて(資料2)
5	令和元年 11月 29日 (金)	1 保健医療学研究科 修士論文題目について 2 臨床検査学専攻博士論文予備審査に係る博士論文予備審査委員の選出について 3 修士論文・博士論文発表会の日程について 4 令和2年度大学院研究科担当教員候補の推薦について
6	令和元年 12月 24日 (火)	1、大学院研究科科目担当教員資格審査について 2 香川県立保健医療大学学位規程の改正について
7	令和2年 1月 29日 (水)	1 大学院学則の改正とそれに伴う規程等の改正について 2 令和元年度修士論文審査会審査委員について 3 令和元年度博士論文審査会審査委員について 4 令和元年度修士論文・博士論文発表会要領について 5 長期履修について 6 研究科担当教員(研究指導教員)の推薦について
8	令和2年 2月 20日 (木)	1 研究科科目担当教員の資格審査について 2 大学院学則の変更に伴う規程等の改正について(追加) 3 復学について 4 令和2年度大学院非常勤講師の委嘱について 5 令和2年度大学院の行事予定表について 6 令和2年度新入生・在学生オリエンテーション等日程について
9	令和2年 3月 19日 (木)	1 研究科科目担当・研究指導教員の資格審査について



KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

香川県立保健医療大学

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp
ホームページ: <https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>